

令和4年度事業報告

社会福祉法人長野県社会福祉事業団

目 次

本部事務局事業

1	事業推進体制	・・・1
2	サービスの質の向上	・・・2
3	人材の確保と定着	・・・3
4	事業所経営のサポート	
5	修学資金等貸付事業	・・・4
6	地域における公益事業の取り組み	
7	新型コロナウイルス感染防止対策について	・・・5
8	計画的な施設整備・メンテナンスの実施	・・・6
9	安全で安心して生活できる環境の整備	・・・7
10	各事業所の特記事項	
	(1) 長野ブロック	・・・9
	・水内荘	
	・みのちグループホームセンター	
	・歩楽里	
	・八雲日和	
	・小春日和	
	・長野市地域活動支援センターこぶし	
	(2) 松本ブロック	・・・12
	・長野県信濃学園	
	・長野県松本あさひ学園	
	・松本ひよこ	
	・大北圏域障がい者就業・生活支援センター	
	・松本児童家庭支援センターあいく	
	(3) 上伊那北部ブロック	・・・15
	・ほっと上伊那	
	・伊那ゆいま〜る	
	・ほっとジョイブ	
	・辰野町障がい者就労支援センター	
	・辰野町地域活動支援センター	
	(4) 上伊那南部ブロック	・・・18
	・長野県西駒郷	
	・上伊那圏域障がい者総合支援センター	
	(5) 長野県障がい者福祉センターブロック	・・・20
	(6) 泉平ハイツブロック	・・・21
	*参考資料	・・・22

令和4年度長野県社会福祉事業団事業報告

新たに策定した長野県社会福祉事業団第4次中期構想に基づいて、事業団を構成するブロック及び事業所それぞれのストレングス強化と問題点改善に向けた取り組みを行いました。

新型コロナウイルス感染症対策では、国及び長野県の動静に従いながら施設や地域で暮らす利用者の「当たり前の生活に支障が無いこと」を念頭に対策に取り組みました。しかしながら、利用者、職員の感染者発症を未然に防ぐことはできず、通所事業所を中心に利用者サービスの提供に影響がありました。

本部事務局事業

1 事業推進体制

(1) 法人運営に関する会議の開催

事業計画、予算、決算などの重要事項について下記会議を開催しました。

ア 評議員会の開催

開催日	内 容
6/23 WEB開催	<ul style="list-style-type: none"> ・理事及び監事の選任・令和3年度第5次補正について ・長野県社会福祉事業団諸規程の一部改正、令和3年度事業報告及び決算報告 ・長野県社会福祉事業団評議員の選任について
11/10 WEB開催	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県社会福祉事業団諸規程の一部変更について ・令和4年度収支予算の第3次補正について ・令和4年度事業の中間報告、理事長及び常務理事の職務執行状況等
3/23	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県社会福祉事業団定款の一部変更について ・令和5年度事業計画及び収支予算について ・令和5年度積立資金取り崩しについて ・ブロック長、事務局長、事業所長の選任について等

イ 理事会の開催

開催日	内 容
4/4 書面決議	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員候補者の推薦について
6/10 WEB開催	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県社会福祉事業団定款及び諸規程の一部改正について ・令和3年度事業報告及び収支決算について ・令和4年度収支予算の第2次補正等
10/20	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業の中間報告について ・長野県社会福祉事業団経理規程の廃止、制定及び一部改正について ・人事・給与制度統合改善の検討状況について
3/9	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県社会福祉事業団定款及び諸規程の一部改正 ・令和5年度積立資産の取り崩しについて ・令和5年度事業計画及び収支予算等 ・新たな人事・給与制度（案）について

ウ 経営委員会の開催（月1回）

回数	内 容
13回 (WEB会議11回)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画、報告について ・予算執行・規程、運営規程等の改正について ・新型コロナウイルス感染症の対応について ・人事・給与制度統合改善検討状況について ・職員の採用について等

(2) 事業の進捗管理

ア 所長会議の開催

回数	内 容
4回 (WEB会議)	・令和4年度の事業運営について ・事業計画、報告、予算執行について ・各事業進捗状況報告、懸案事項検討 ・新型コロナウイルス感染症対策について ・虐待防止について等

イ 事業団委員会

委員会名	実 施 内 容
人事給与・改善 検討委員会	目 的 自らのキャリアプランによる働き方の選択と働き方に応じた処 遇の実現をめざすため 検討内容 給与表・人材育成・人事評価制度の見直し その他 各ブロックでの職員説明会の実施
グループホーム 運営管理見直し	目 的 利用形態の見直し 検討内容 ・利用者から受領する費用の平均化 ・設備等の見直し

(3) 財務規律の確保

ア 監査の実施による内部統制

本部事務局、監事、会計監査人、外部評価者による監査、指導の受審による内部統制を図りました。

イ 計画的な予算執行

本部事務局において各施設の予算執行状況を毎月確認し、事務担当者会議で担当者の意思統一を図りながら計画的な予算執行に努めました。

(4) コンプライアンス体制整備

顧問弁護士の配置

トラブルの未然防止や起きてしまったトラブルに迅速に対応するため、顧問弁護士による相談体制をとりました。

2 サービスの質の向上

(1) 人権尊重と虐待防止の徹底

ア 虐待防止対策

虐待防止に向け法人全体で改めて職員の意識向上に努めました。幸い今年度は、虐待事案はありませんでしたが、昨年度、新規採用職員や経験の浅い職員の行動が虐待事案に繋がるケースが複数見られたことを重く受け止め職員の意識強化を図るため、各種研修会に参加しました。

[事業所内研修(98回・延べ参加者1356人) 外部研修(368回・延べ参加者601人)]

職員自身が虐待に繋がる言動や行為を自覚し、日ごろの支援を振り返るきっかけづくりとし「セルフチェック」を実施しました。

イ 報告事案

職員から利用者に対する言葉がけが「虐待」ではないかとの報告を受け、関係機関に通報しました。虐待とは認定されませんでした。事業所職員で意識共有を図りました。

(2) 専門支援員の養成

ア 強度行動障害支援者研修

令和6年度、西駒郷に設置される「強度行動障がい者専用エリア」にて支援に関わる専門ス

スタッフの養成のため、先進施設にて5か月間に渡る研修を実施しました。

イ 外部研修への参加

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、法人内での対面研修が制限されたため、外部の主催するWEBでの研修に積極的に参加しました。

(3) 苦情解決の適正運営

寄せられた苦情に対しては、関係者の間で情報を共有し「事業団における福祉サービスに関する苦情解決要綱」に基づき、速やかに対応しました。

○苦情等受付状況

区 分	内 容
新型コロナウイルス感染症対策について	・ 予防対策緩和要求（面会・帰省等） ・ 利用緩和について
利用者の健康管理について	・ 食事内容について確認
地域（ご近所）からの苦情	・ ごみの搬出方法について ・ 路上での排尿行為について
事業所・職員に対する苦情	・ 職員の粗雑な対応（4件） ・ 衣類紛失（1件）
その他	・ 自主製品への異物混入（1件） ・ 問合せに対する対応の遅れ（1件）

3 人材の確保と定着

(1) 人材の確保

安定した人材確保のため、採用計画にもとづき、ホームページやパンフレットなどで広報を行ったほか、オンラインによる事業所説明会を積極的に実施しましたが、職員の欠員を満たすまでには至りませんでした。

ア 試験実施状況

- ・ 定期試験3回（9月、12月、2月）
- ・ 年間を通して随時募集 随時試験2回（12月、2月）

イ 新規採用職員内訳（令和5年4月1日付け採用者）

階 層	職 務	人 数 (人)
総合職	支援員、心理支援員	6
一般職	支援員、主事	14
介護職	介護員、庁務員	3
合 計		23

(2) 職員の健康管理

職員の安全と健康を守るため、ストレスチェックを実施しました。職員自身の心身の健康について気軽に相談できる様、保健師等による相談体制の開設を令和5年度に行います。

4 事業所経営のサポート

(1) 水内荘、八雲日和事業統合化検討

2事業所のみでの統合ではメリットが少なくブロックでの協議をすることとなりました。

(2) 松本ひよこ事業見直し検討

重度包括事業の今後について、単独での解決が難しいため、近隣ブロックも交え協議継続となりました。

(3) 西駒郷機能強化事業について

西駒郷の整備検討について、事務局、西駒郷と県障がい者支援課とで協議を重ね法人としての意見を提起しました。なお、令和5年度から実施される「西駒郷機能強化事業」の検討事項であ

る宮田支援事業部の就労支援事業の運営等についての協議を始めました。

(4) 長野県障がい者芸術文化活動支援センター事業の受託

一般公募した愛称の決定と共に「ザワメキサポートセンター」の活動をスタートしました。従前からの「ザワメキアート展～信州の障がいのある人表現とアールブリュット」の取り組みのノウハウを生かし県内障がい者の芸術文化活動の環境整備、支援を行うとともに、県内外のネットワークづくりにとりかかりました。

(5) 障がい者就業・生活支援センター事業の受託について

運営主体法人の事業撤退に伴い、県から依頼を受けていた同センターについて事業受託を決定しました。なお、人材難のため職員については、他法人からん出向職員を充てることになりました。

5 修学資金等貸付事業

長野県からの委託事業である各種貸付業務の円滑な運営に努めました。(単位：人)

	令和3年度	令和4年度
	貸付者数 (年度末)	貸付者数 (年度末)
介護福祉士修学資金貸付事業	142	158
社会福祉士修学資金貸付事業	8	4
再就職準備金貸付事業	30	30
実務者研修受講資金貸付事業	48	103
障害福祉分野就職支援金貸付事業 (新)	—	1
福祉系高校修学資金返還充当資金貸付事業 (新)	—	0
福祉系高校修学資金貸付事業	0	10
介護分野就職支援金貸付事業	32	21
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業	5	7
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	39	25
保育士修学資金貸付事業	293	285
保育補助者雇上費貸付事業	4法人	6法人
未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業	7	7
保育士就職準備金	9	11
未就学児を持つこどもの預かり支援事業利用料金の一部貸付事業	0	0

6 地域における公益事業の取組み

○各事業所の地域貢献活動計画

事業所名	主な活動内容等
事務局	・隣接する団体への駐車場の貸出し
水内荘	・施設設備の開放(体育館)・豊野区水害時の一時避難所協定
みのちGHC	・地域清掃活動(瀬木さらい)
八雲日和	・長野市災害ボランティア委員会の活動に参画
小春日和	・地域の独居老人宅への弁当配達と安否確認 ・地元住民自治協議会主催の福祉大会での講演
こぶし	・豊野中学校生徒会のボランティア活動に協力
長野県信濃学園	・地域防災の相互協力、独居者の受け入れ (中止)
長野県松本あさひ学園	・新型コロナウイルス感染症対策の為、地域交流(太鼓演奏中止)
松本ひよこ	・施設設備(駐車場)の開放、リサイクル活動
大北圏域障がい者就業・生活支援センター	・自立支援協議会事務局の運営
松本児童家庭支援センター あいく	・長野県里親会連合会の事務局業務を受託し、役員会や県大会の事業補助 ・市町村が実施する、乳幼児健診のアフターフォロー事業への協力
ほっと上伊那	・地域(箕輪町)の他法人と地域貢献活動の協力、イベント実施 ・長野県障がい者施策推進委員 ・箕輪町総合福祉計画策定評価委員

	・研修会等への講師派遣
伊那ゆいま〜る	・地域清掃活動、伊那市との災害時応援協定による福祉避難所体制
ほっとジョイブ	・自所や地域のイベント (新型コロナウイルス感染症対策を講じながら参加できる時に実施)
辰野就労センター	・移動販売車の地域のイベント、県合庁、役場、福祉施設への出店
辰野地域センター	・リサイクル活動(アルミ缶回収、牛乳パック回収等)
長野県西駒郷	・駒ヶ根市「地域見守りネットワーク協力事業所」への登録
上伊那圏域障がい者総合支援センター	・養護学校就労支援セミナー講師・文化祭での出張相談、高校3年生を対象とした出張相談 ・研修会等への講師派遣、市町村障がい福祉関係協議会等への委員派遣 ・上伊那広域連合障害支援区分認定審査会への協力
長野県障がい者福祉センター	・地域スポーツ支援リーダーの養成と派遣
泉平ハイツ	・地元地区の行事への協力(1月どんど焼きのやぐら作り)

7 新型コロナウイルス感染防止対策について

長期化する新型コロナウイルス感染防止対策は、国及び長野県の指針に沿い、法人事業所への感染防止対策の徹底、職員行動の規範を各事業所に周知徹底しました。

(1) 事業所の新型コロナウイルス感染症の感染者状況

ア 新型コロナウイルス感染症の感染者状況

(単位:人)

事業所名	令和4年度		令和3年度		受入中止日数
	利用者	職員	利用者	職員	
水内荘	10	19	—	—	短期入所
みのちグループホームセンター	23	10	—	—	
歩楽里	21	6	1	—	4日間
八雲日和	8	1	—	—	8日間
小春日和	2	4	—	—	
長野市地域活動支援センターこぶし	3	1	—	—	2日間
信濃学園	15	7	6	12	
松本あさひ学園	6	9	—	1	
松本ひよこ	12	20	—	—	11日間
大北圏域障がい者就業・生活支援センター		1		—	4日間 体面相談中止
松本児童家庭支援センター		1		—	
ほっと上伊那	21	17	8	9	
伊那ゆいま〜る	2	—	—	—	7日間
ほっとジョイブ	15	12	—	—	13日間
辰野町障がい者就労支援センター	2	1	—	—	4日間
辰野地域活動支援センター	2	6	—	—	3日間
西駒郷	30	35	8	2	通所6日間
上伊那圏域障がい者総合支援センター		3	—	—	
長野県障がい者福祉センター		13		1	
泉平ハイツ	53	32	—	1	短期入所28日間 通所6日間
事務局		2		1	
合 計	225	200	23	27	
	425		50		

イ 感染拡大（クラスター）の要因

- (ア) 外部からのウイルスの侵入を防ぐため、職員等の健康チェック、行動履歴の確認等徹底し、感染経路を遮断するよう努めましたが効果については検証できず。
- (イ) 重度者への、個室対応（ゾーニング）、マスクの着用等を徹底することが出来ず、拡大を抑えることが出来なかった。

ウ 感染発症時及び発生後の対応

- (ア) 保健所等による、感染対策、ゾーニングの改善指導。
- (イ) 発症事業所への応援派遣（延べ9名）
- (ウ) 基本感染対策の徹底と防護服との着脱再確認
- (エ) 感染拡大防止のための出入口の改修工事実施
- (オ) 発生時の職員宿泊場所の整備

エ 課題

(ア) 職員体制

慢性的な職員不足の中、緊急時の応援体制について法人内外との協力体制の構築と受入れている事業所の支援マニュアルの見直しと宿泊場所等の整備。

(イ) 感染者の早期発見

施設内にウイルスを持ち込まないため、特に職員の健康管理とPCR検査等の実施が必要。

(2) 補助金

事業所における感染対策やサービス再開に向け、新型コロナウイルス感染症に係る障がい福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業補助金等を活用しました。

		補助金内容	金額（円）	該当事業所数
新型コロナウイルス感染症	長野県	サービス継続支援事業補助金	15,471,000	10
	長野県	環境改善事業補助金	2,527,000	1
	長野県、長野市、松本市	自主検査費用補助金	505,000	7
	長野県、長野市他	ワクチン接種委託費用	525,987	1
	駒ヶ根市	障がい福祉サービス事業支援金	100,000	1
	南箕輪村	感染症対策飲食店応援事業交付金	100,000	1
	長野労働局	小学校休業等対応助成金	2,542,721	15
		合計	21,771,708	36

8 計画的な施設整備・メンテナンスの実施

安心・安全で快適な生活環境を維持するためメンテナンスや点検の徹底を図るとともに、老朽、故障個所の早期発見、早期対応による維持管理に努めました

○施設整備及び住・作業環境等の改善状況

(円)

事業所	内 容	金額	備考
水内荘	体育館床全面改修工事	1,375,000	安全対策
	体育館バスケットボールゴール改修工事	1,232,000	安全対策
みのち グループホームセンター	服部ハイツ屋根改修工事	1,430,000	老朽化
長野県信濃学園	ブロック塀撤去工事(県指定修繕)	990,000	安全対策
	寮居室・トイレ修繕	2,918,740	老朽化
	寮タイル修繕	2,222,000	老朽化
	消防設備修繕	1,747,900	安全対策
	東寮、保健室ドア新設工事	1,914,000	感染症対策
	なかよし寮修繕工事	722,700	感染症対策
	w i f i 環境整備	769,120	環境改善
長野県松本あさひ学園	厨房機器修繕(冷蔵庫・食器洗浄機他)	189,970	老朽化
	ガスボイラー点検作業	172,480	
	給湯用ボイラー修繕	312,576	
松本ひよこ	島内ホーム脱衣所、トイレ(3ヶ所)床改修	660,000	老朽化
	島内ホーム誘導灯	151,800	
	第2三郷ホーム給湯器入れ替え	583,000	破損
辰野就労センター	製麺機(調量機、ミキサー、カッター)修繕	869,110	経年劣化
辰野地活センター	女子トイレ修繕	99,000	経年劣化
長野県西駒郷	さくら2・4・5寮玄関ドア更新 (県指定修繕)	5,297,160	老朽化
	地下タンク内面コーティング工事(県指定修繕)	1,663,200	流出防止
長野県 障がい者福祉センター	県障スポ協事務室エアコン取替	638,000	老朽化
	宿泊棟風呂タイル貼替	346,500	
	雑排水用給水定位電磁弁取替	300,300	
泉平ハイツ	介護ベッドの更新(20台)	5,321,360	老朽化
	グループホームの入浴用介護イスの設置 (浴槽、ボイラー更新含む)	3,200,000	老朽化 環境改善
	デイサービスルームの床フラット化工事	990,000	環境改善

9 安全で安心して生活できる環境の整備

ヒヤリ・ハット報告や利用者等の声などから、事故の予防、発生時の対応や再発防止に向け取り組みましたが、昨年度にくらべ利用者の事故事案が増加しました。各事業所のインシデント、要因等を検証、再発防止策を講じました。

○事業所の事故事案

事業所名	内 容	主な対策
水内荘	居室内での転倒(1件) 骨折(大腿骨)	職員カンファレンスの実施 居室内の環境改善
みのちGHC	単独外出中の転倒(1件) 裂傷(顔面) 所在不明(1件) 世話人出勤前の単独外出	世話人に対応の徹底 職員カンファレンスの実施 本人との面談(心身状態の確認) 医療機関との連携
歩楽里	衝動的(不穏)な行動(6件) 物品の破損、他害行為 (利用者、職員、近くにいた家族) 所在不明(1件)	職員カンファレンスの実施 職員への対応、引率方法の確認、徹底 関係機関との検討、情報共有 (保護者、学校)
八雲日和	ウォーキング中の転倒(1件) 擦過傷、打撲(顔面、手、足)	職員介助方法の見直し

長野県 信濃学園	居室内行動の怪我（2件） 裂傷（顎）	居室の防護 修繕、保護材の貼り付け 個別に職員対応
長野県 松本あさひ 学園	無断外出（児童1名/3回） 警察通報と介入 興奮、乱暴行為（1件） 園内共有スペース 収束の目途立たず警察介入	児童相談所へ一時保護委託 ・本児の意志表明により帰園 入院治療措置 ・児童相談所、家族と協議
松本ひよこ	更衣の姿勢保持の転倒（1件） 裂傷（後頭部） 他害行為（1件） 目頭付近の打撲	保護帽の着用、更衣中の介助見直し 職員カンファレンスの実施 不仲な利用者同士が干渉しない環境
ほっと上伊那	誤嚥（1件） 喀痰、せき込み、呼吸異常 救急搬送後に死亡 （72歳、男性、支援区分6） 介護認定5	世話人会議にてケース報告、注意喚起 食事提供方法の再確認、 ・ペースト食、刻み食の対応 介助方法の確認 ・より細かな体調、状態のチェック ・緊急時対応（通報、応急処置）
	居室、風呂場での転倒（3件） 骨折、打撲、皮下出血 骨組成組織の衰え 不穏時の行動（1件） （ガラスによる裂傷）	宿直体制ホームへの転居 介護保険申請 職員カンファレンスの実施 トラブル回避のための利用者相互の約束 事、不穏軽減について
	誤薬（1件）	複数職員による服薬確認の徹底 全職員に周知
ほっと ジョイブ	不穏時の他害行為（1件） 職員を殴打	職員カンファレンスの実施 本人のメンタル（気分）チェック、家族との 関係について
辰野町障がい 者就労支援 センター	所在不明（1件）	本人の状態観察、所在確認の徹底
西駒郷	棟内・居室での転倒（4件） （骨折）	職員カンファレンスの実施 強度行動障害者に対する環境面の改善 （刺激への配慮） 骨粗しょう症対策（医療機関に相談）
泉平ハイツ	居室・リビング・トイレ等での転 倒による打撲、内出血、骨折 （特養5件、グループホーム4件、ショート ステイ1件）	ケースカンファレンスの実施 ・居室内の備品設置場所等見直し ・センサーコールの配置 ・ドアストッパーの変更 ・職員間での協力体制を再確認 ・見守りの徹底と強化

10 各事業所の特記事項

(1) 長野ブロック

事業所名		特記事項					
		事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
		施設入所支援	40	40	40	0	
		生活介護	60	59	62	2	
		短期入所	6 (併設型)				
		事業名	実績		備考		
		相談支援 (一般)		0			
		相談支援 (特定)		0			
		収支状況	収入		支出		収支差額
			令和3年度	254,752,998	255,188,966	△435,968	
			令和4年度	246,743,865	229,579,002	17,164,863	
1 水内荘	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> 5月中旬から6月上旬にかけて新型コロナウイルス集団感染が発生しました。令和4年度水内荘におけるのべ感染者数は利用者10名・職員19名でした。 水内荘創立60周年記念事業を、コロナ禍のため規模を縮小し主に利用者向けとして実施しました。内容は①60周年記念手ぬぐい製作し利用者・関係者等に配布②昼食に60年前再現給食とおやつにスペシャルスイーツを提供③60周年記念花火打ち上げの3点です。 ホームページによる情報発信・情報公開につとめました。ホームページをこまめに更新し、所内の新型コロナ感染状況や各種行事等を随時掲載しました。 					
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害支援者養成研修を3名修了しました。支援の質の向上と安定した収入確保に努めています。 長野ブロック全体で虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会を設置し、定期的に開催しています。 体育館床面の補修工事・バスケットボールのゴール更新工事を行いました。地元スポーツサークル等に体育館を無料で貸し出しています。 					
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 八雲日とと生活介護の統合化について、長野ブロック事業所全体の課題として協議を始めました。 					

事業所名		特記事項					
		事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
		共同生活援助	52	51	49	△3	
		収支状況	収入		支出		収支差額
			令和3年度	111,890,375	115,368,067	△3,477,692	
			令和4年度	123,618,945	113,630,219	9,988,726	
2 みのち グループ ホーム センター	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険サービス事業所と緊密に連携し2名の高齢利用者が特養へ移行しました。 9ホーム中6ホームで新型コロナ感染が発生しましたが、幸い重症化した利用者はなく収束しました。 感染防止対策で制限の多い生活が長期間にわたったため、隔月でお楽しみ企画を実施し、気分転換を図りました。 感染対策を徹底しながら体験1名を受け入れました。 					
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 世話人研修は新型コロナの警戒レベルに合わせ、オンラインと実地とで計画通り3回実施し、利用者の思いの汲み取り方を学びました。 老朽化が進む「本町の家」の住み替えを検討しましたが、適切な物件が見つからなかったため、令和8年度まで借用を継続し、ホームについて統廃合を検討することとしました。 					
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化ホームの修繕 ホームの統廃合の検討 					

事業所名	特記事項 ()は年度の登録者数					
	事業名	相談件数	相談人数	件数対前年比 人数対前年比		
3 歩楽里	相談支援(特定)	711	231	103.6% 101.3%		
	相談支援(障害児)	6	25	84% 89%		
	相談支援(一般)	0				
	事業名	定員/日	年度当初登録児	年度末登録児	登録児増減	
	放課後等デイサービス	10	(31)	(32)	(1)	
	収支状況	収入		支出		収支差額
		令和3年度	54,182,932	54,728,385	△545,453	
		令和4年度	55,639,582	54,149,095	1,490,487	
	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> 指定相談支援事業は、新規ケースの受け入れや各種加算の取得に努めた結果、収入増につながりました。(631千円) コロナ禍で利用自粛も見られましたが前年よりは利用率が向上しました。(平均利用者 7.8人/日…+0.3人前年比)活動制限も徐々に解除して支援しました。 「長野市北部障害者相談支援センター」へ引き続き1名が出向し、長野市内の子どもから大人を対象に発達や生活全般にわたる相談に対応しました。 				
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害支援者養成研修の復命報告等、事業所内での学習会の機会としました。 「赤い羽根共同募金」の補助金を利用し、各種のゲームを購入。利用児童がルールを守りながら楽しく遊ぶツールとして活用しました。 利用者の健康管理については、コロナ感染対策を基本としながら家庭、学校等と連携し、健康チェック表を活用するなど適切に対応が図れるよう努めました。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> 放課後デイサービス事業の職員体制の再構築 放課後デイサービス事業の質の向上(職員のスキルアップ等) 他事業所や学校等との連携、協力体制の検討 					

事業所名	特記事項 ()は年度途中での定員変更後の人数					
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
4 八雲日和	生活介護	20	15	15	△5	
	就労継続支援B型	20	22	19	△1	
	収支状況	収入		支出		収支差額
		令和3年度	78,140,976	70,824,077	7,316,899	
		令和4年度	65,518,883	63,841,077	1,677,806	
	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で水内荘利用者をはじめGH利用者が通所できず大幅な減収でした。 町内に開設されたGHから4名が新規利用者として(生活介護を)利用開始しました。 コロナ禍で注文販売を主に売上げ増に努めました。平均工賃 25,074円(前年比△748円)と昨年並みに留まり、目標とした3万円には届きませんでした。 資格取得を目指す実習生や体験生徒を積極的に受け入れました。 「(一社)広域連携事業推進機構」より麦ストローの加工作業の要請があり、復興支援やSDGs等につながるため次年度に向けて定着を図ります。 				
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 水内荘や小春日和との統合について「検討委員会」で検討しました。 資格取得を目指す学生6名、体験学習の学生1名、職場体験4名と生活介護1名就労継続支援B型2名の養護学校実習生を受け入れました。 生活介護の利用者家族向けに「せいかつかいごだより」を発行しました。 コロナの感染予防や水害や土砂災害等を想定した避難誘導訓練を実施しました。 				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で水内荘やGH利用者が利用を見合わせることで減収となるのが恒常化しており、長期借入の返済目途が立ちません。 新規利用者の確保については喫緊の課題ですが施設設備や支援内容、職員体制等ハードとソフト両面の課題が大きい。 				

事業所名	特記事項				
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
5 小春日和	就労移行支援	6	2	2	△4
	就労継続支援B型	14	24	27	13
	就労定着	—	3	5	—
	収支状況		収入	支出	収支差額
		令和3年度	45,756,339	52,186,196	△6,429,857
		令和4年度	58,254,474	54,141,540	4,112,934
	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援の平均工賃は、17,327円（前年度比+1,853円）でした。 ・就労継続支援B型の平均工賃15,104円（前年度比△682円）新規で3件の農福連携作業と契約したり、カフェの営業を再開したりして幅広い作業種の確保と工賃アップに努めました。 ・就労継続支援B型から1名が一般就労しました。 ・就労定着支援では、本年度2件の新規契約があり、雇用が継続しています。 			
管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・長野ブロック全体で虐待防止委員会、身体拘束適正検討委員会を設置し、定期的開催しました。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長野ブロック全体での「統合検討委員会」を「利用者のより良い生活・活動の場検討委員会」として更に検討を重ねましたが結論には至っていません。 				

事業所名	特記事項 ()は登録者数				
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
6 長野市 地域活動 支援 センター こぶし	地域活動支援センター	15	(12)	(12)	△3
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額
		令和3年度	9,227,218	9,281,651	△54,433
		令和4年度	9,477,005	9,477,005	0
	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、身体を動かす時間を確保し健康管理に努めました。 <作業以外の活動の充実> ・利用者の余暇活動のためスポーツ用具（ボッチャ用具）を購入し、利用者を楽しんでもらいました。 			
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のWEB環境を整えたことで、虐待防止・権利擁護などの各種研修への参加、また、地域活動支援センター連絡会等、他団体との会議など効率よく意見交換や情報収集を行うことができました。 ・「かがやきひろば」指定管理者と連携して防災・防犯に努めました。 ・長野市より、本年度から令和8年度までの5年間の指定管理者として、引き続き地域活動支援の場としての業務をスタートしました。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のセンターのあり方と運営についての協議（長野市、事務局等） ・利用率が低い一方で、人数が増えると環境面で難（狭い） ・管理運営上、正規職員の配置が理想であるが、人件費を勘案すると兼務にせざるを得ない。 			

松本ブロック

事業所名		特記事項				
7 長野県 信濃学園	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
	施設入所支援（児童）	30	26	26	△4	
	施設入所支援（成人）		1	0		
	生活介護（成人）		0	0		
	事業名		利用人数	実績		
	短期入所	空床型	0	0日		
	日中一時支援		0	0時間		
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額	
		令和3年度	279,604,890	251,727,566	27,877,324	
		令和4年度	277,054,032	263,260,756	13,793,276	
サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活移行の促進：個別支援計画に沿って、学園が移行調整の主体となって関係機関と連携しながら進めました。入所先の空きがない、当該利用者の障害特性により支援困難である、学園に入所しているために優先順位が低い等の理由により、社会福祉法人の入所施設（知障協加盟施設を含む）から受け入れができないと言われたため、全県に広げて移行先を探しました。その結果、今年度は18歳以上の措置利用者1名と高3の措置利用者1名が株式会社系列のグループホームに移行することができました。また、これまでは入所すれば18歳まで在籍することが多かったのですが、家族の希望や地域の資源等を鑑みつつ帰省や支援会議を重ね、小学部卒業を機に契約利用者1名の家庭復帰が実現しました。令和6年度からは、地域移行が困難なケースは長野県が責任主体となり移行調整を進めることとなります。 ・居住環境の整備及び安全管理：学園独自でできる改修（寮居室・トイレ修繕など）については、県と協議した上で実施しました。 					
管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応：令和5年度までに業務継続計画（BCP）を策定するとともに、平時から計画的に研修、訓練を実施しました。 ・修繕、改修：100万円以上のものであっても、必要であると判断したものについては、県と協議した上で実施しました。 ・新型コロナウイルス感染防止策：国、県から発出される通知等を考慮して策定した学園の基本方針、発生時の対応マニュアル等に基づいて、対処をしました。また、地域の感染状況等に応じ、マニュアルや手順書の見直しを随時行いました。利用者15名、職員7名が感染しましたが、保健所の指導のもとで感染拡大防止対策を実施しました。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した地域生活移行先の確保 ・人員・人材不足（欠員の解消など） ・施設改修（老朽化、個室化など） 					

事業所名		特記事項				
8 長野県 松本あさひ学園	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
	児童心理治療（入所）	30	13	13	△17	
	児童心理治療（通所）	5	5	6	1	
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額	
		令和3年度	195,298,881	194,282,870	1,016,011	
		令和4年度	200,311,594	197,408,271	2,903,323	
サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターフォロー：家庭支援専門相談員を中心に行いました。（46人404件） ・権利擁護：児童への定期的な聴き取り（11回）、外部講師による研修（1回）を行い意識向上に努めました。いのちの学習（7回）、ロールプレイを用いた「あさドラ」（4回）を実施しました。 ・地域との連携強化：学園の持つ社会資源を地域還元するため、講師等の派遣を行いました。（WEB/2回（長野県立大・松本市社会福祉協議会民生児童委員）） ・「ながの子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」に率先して協力しました。 					

管理業務	<p>経営管理：社会的養護第三者評価及び指定管理者制度導入施設の第三者評価並びに学園独自に行っている福祉サービス評価委員を実施しました。</p> <p>危機管理：新型コロナウイルス感染症拡大により、感染防止に努めました。児童6人、職員9人の陽性者が出ましたが、感染拡大には至りませんでした。事業継続計画（BCP）の策定を行いました。</p> <p>苦情解決の適正運営：児童からの苦情等に対しては、苦情解決実施要領に基づき対応しました。本年度は14件の苦情（要望）が寄せられました。いずれも第三者委員への報告等はありませんでした。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入所定員に満たない件について、こども家庭課・児童相談所・事業団との連携を深める方策 ・次年度が第3期指定管理の3年目であり、次期指定管理に向けた方策の検討

事業所名	特記事項				
9 松本 ひよこ	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
	生活介護	21	21	23	2
	就労継続支援B型	18	18	16	△2
	共同生活援助	23	23	23	0
	事業名	実績		備考	
	相談支援（特定）	計画 18 件、モニタリング36 件			
	相談支援（一般、障がい児）	実績なし			
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額
		令和3年度	178,893,175	156,072,700	22,820,475
		令和4年度	184,439,383	166,859,630	17,579,753
サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や食事などの場面で、写真や絵カードを使用し、自己選択の機会を提供しました。（生活介護） ・パンの販売は、新規販売先を2件獲得し、新作業種としてそば梱包を導入しましたが、コロナ感染による活動の休止の影響で全体収益は減少し平均工賃10,258円、前年比7.3%の減となりました。（就労B） ・快適な居住環境を目指し、古くなったホーム設備の更新（エアコン修繕、床張り替え、給湯器交換）を行いました。（共同） ・個々の利用者の特性やニーズに応じた対応を実施するため、居宅介護を活用しました。（重度） ・事業所内で完結していた相談支援を他事業所との連携を図り、18名中10名の利用者を他事業所へ移管することができました。（相談） 				
管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した経営を確保し、利用者の支援向上を図るため、関係機関と協議し波田しなのハイツでは5名全員の利用者が支援費支給増となりました。 ・研修参加が難しい職員に対しては、動画視聴形式での研修実施し、研修機会の確保に努めました。 ・勤務シフトを検討し、深夜帯、ハオ専門の職員を採用することで職員の負担軽減を図りました。 ・波田しなのハイツについて、今後の方向性を検討し、移行を進める方向で調整を行いました。 ・新型コロナウイルス感染防止策については、国、県、市から発出される通知等を考慮し、対応マニュアル等に基づいて対処しましたが、利用者12名職員20名の感染者が発生しました。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・借入の返済が出来る安定した事業所運営 ・変則勤務に対応できる職員確保が急務（波田しなのハイツ） 				

業所所名	特記事項				
	事業名	相談件数	相談人数	件数対前年比	人数対前年比
10 大北圏域 障がい者 就業・ 生活支援 センター	障害者就業・生活支援センター	1268 件	263 人	88.5%	104.0%
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額
		令和3年度	20,200,143	20,192,565	7,578
		令和4年度	20,488,666	20,488,666	0
	サービス業務	障害者就業・生活支援センター事業（国：雇用安定事業 県：生活支援事業） ・障がい者の相談支援を実施しました。 就職相談 670 件 職場定着相談 217 件 生活相談 381 件 計 1268 件 職場実習 20 件 就職 34 件 職場定着率 1 年後 64.3% 求職者交流活動 3 回 在職者交流活動 1 回 福祉サービス事業所新規利用 4 件 ・企業の相談支援を実施しました。 相談 236 件 研修講師派遣 1 件 ・GH、公共住宅入居に向けた支援を実施しました。 ・自立支援協議会事務局を運営しました。			
管理業務	・外部研修や関係機関、他圏域センターとの連絡会議等に参加しました。 ・支援先への直行、直帰やWEB会議により移動時間や経費を削減しました。 ・職員1名が新型コロナウイルスに感染したため支援日程を調整しました。 ・関係機関と松本圏域のセンター事業受託に係る検討を行い、松本事務所設置に向けた準備を行いました。				
課題	・5年度から支援担当エリアが大北圏域及び松本圏域に拡大するため支援体制の整備と事業運営の調整が求められる。				

事業所名	特記事項				
	事業名	相談件数	相談人数	件数対前年比	人数対前年比
11 松本児童 家庭支援 センター あいく	相談支援事業	1,282	101	154%	117%
	支援事業	108		79%	
	指導委託	475	7	120%	140%
	合計	1,390			
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額
		令和3年度	19,187,051	14,883,175	4,303,876
		令和4年度	19,566,051	20,923,889	△1,357,838
サービス業務	<児童福祉事業> ・相談援助：個別相談実人数 101 人 延相談件数 1,282 件と増加しました。 ・市町村支援：乳幼児健診アフターフォロー事業 26 回でした。 ・指導委託措置の受託：児童相談所からの委託による指導 7 件、対応延数 475 回と増加傾向にあります。 ・里親支援：里親サロン参加・里親研修会講義等 11 回で虐待防止研修を実施しました。 ・関係機関との連携：他機関連携 71 回でした。 ・昨年度課題であった、里親会連合会事務局業務を引き継ぐことができました。				
管理業務	<人材育成> キャリアアップによる職場の活性化 ・職務に関連した専門資格の取得の推進を図りました。 <効率的・自立的な施設運営> 業務安定化、効率化への取り組み ・業務の実績を確実にするため、多方面の相談機関との連携を密に取ることで、相談件数は大きく増加してきました。 <経費削減に向けた取り組み> ・相談援助記録システムの効率的利用による時間外勤務の削減を図りました。 ・里親会連合会事務局業務では、新型コロナ感染予防対策も含め、WEBによる役員会議を開催することにより、交通旅費の削減を図りました。				
課題	・支援事業（相談件数、事業回数）が全体に増加し、今後も見据えて、人員を増やすことも検討。 ・要保護児童対策地域協議会への参画について、地元松本市と児童相談所を中心に検討。				

(3) 上伊那北部ブロック

事業所名	特記事項 () は年度途中での定員変更後の人数					
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
12 ほっと 上伊那	共同生活援助	121	125	106	△15	
	事業名	実績		備考		
	居宅介護	登録 69人	1,501時間			
	行動援護	登録 16人	622時間			
	移動支援	登録 100人	3,038時間		計 5,161時間	
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額	
		令和3年度	377,413,194	373,940,719	3,472,475	
		令和4年度	366,486,781	368,614,365	△2,127,584	
	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域6市町村で22ホームと居宅介護事業を運営しました。平均年齢,57.4歳、介護保険利用者は5人です。 ・退所者は11人(他施設・病院8人、死去3)新入所者は0人 ・新型コロナウイルス感染罹患や濃厚接触が頻発したため、支援業務に入る職員が限られ支援にひっ迫し、日中活動先も感染対策のため日中活動に参加できない日が多く支援と活動が狭まった利用者の生活に大きな影響が出ました。 				
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策では、圏域情報をもとに定期的に対策会議を実施、その都度利用者、世話人に所の方針を発信しました。ワクチン接種は、地域で速やかな接種ができるよう支援しました。集団接種が困難な利用者については、地域医療と連携し往診接種で対応しました。対策を講じてきましたが年度内で16ホーム利用者21人、職員17人が発症しました。 ・ハザードマップ危険区域内に6ホームがあるため、事務所と合同建物の「伊那ゆいまーる」内に災害時の準備を整え、避難訓練も実施しました。また、全ホーム災害に備え、紙食器類、ポータブルトイレの準備を行いました。 				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・世話人不足と世話人の高齢化が進んでいます。また、募集に際し期待する年齢層や就労時間に見合う応募が少ないのが現状です。利用者減もあるためそれに見合ったホームの削減や世話人業務の効率化の検討が急務です。 ・ひとたびホームや日中活動先が感染症に罹患したり濃厚接触になると、利用者の生活すべてをホームで担わざるを得ず、日中活動に参加することを基本として組み立てているホームの支援が非常時には脆弱であることが露見しました。法人内の協力体制の構築が必要です。 ・世話人という非正規の職員が支援の軸であることも、コロナ感染時の支援にひっ迫した原因です。 ・実年齢以上に老化が進んでいる利用者が目立ってきました。利用者の状況に合わせ、ホーム内外を含めての生活の場の検討が必要です。 				

事業所名	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
13 伊那 ゆいま〜る	生活介護	20	16	16	△4	
	就労継続支援B型	20	26	25	5	
	事業名	実績		備考		
	相談支援(特定)	計画 23 件		(自施設 23 人)		
	収支状況	収入		支出		収支差額
		令和3年度	72,881,168	71,472,294	1,408,874	
		令和4年度	74,592,445	74,056,103	536,342	
	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護事業(生産活動(古紙回収)、音楽、運動、創造的活動の基本活動に合わせて前年度では控えていた外出活動支援を感染予防に努めながら開始しました。入浴サービスを1年間にて延べ656人が利用しました。 就労継続支援B型事業 軽作業等受託作業と受託販売 自主生産(手芸・木工活動)を行いました。新規企業2社と契約しましたが、平均工賃額は10,318円(前年より2,183円減)全体収入は18%、工賃は18%の減収でした。 利用者4人が利用中止しましたが新たに4人が利用を開始しました。 計画相談では、22人の支援をしました。個別避難計画の作成支援開始しました。 				
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 就労継続支援B型事業 「作業管理システム」を開始しました。 「伊那市災害時応援協定」を今年も結びました。 虐待防止研修(所内1回 外部講師1回)やセルフチェック等を行い防止に努めました。 				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 利用率の安定化=通いたくなる事業所の構築(専門的支援の見直しと構築) 地域との関係性の醸成(地区役員会参加)地域貢献活動 生活介護職員の確保 				

事業所名	特記事項				
事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
生活介護	20	21	20	0	
就労継続支援B型	20	24	26	6	
短期入所					
事業名	実績		備考		
相談支援(特定)	計画 33 件、モニタリング 2 件				
収支状況	年度	収入	支出	収支差額	
	令和3年度	94,534,608	92,366,420	2,168,188	
	令和4年度	91,559,985	90,461,706	1,098,279	
サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護事業では、コロナ感染レベルに応じた活動メニューの実施に努めました。 就労継続支援B型事業では、コロナ感染予防に努め、感染レベルに応じた、製造、販売やイトイン営業を可能な限り行いました。バウムクーヘンは安定的に生産可能となり、さとふる採用や、24時間TV一押しフードアワードの太鼓判フードに選ばれました。室内作業は、新規受託先を1か所開拓し作業の確保に努めました。(新規利用者3名・退所者1名)月平均工賃額20,178円(昨年比-3,483円) 短期入所事業は、コロナ感染レベルにより状況を見合わせる期間もありましたが延べ18名の利用がありました。 ほっとマルシェは規模を縮小し利用者のお楽しみイベント「ほっとミニマルシェ」として開催しました。(9/24) 				
管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 南箕輪村との災害時における要援護者受け入れに関する協定書を締結により今年度も確認を行いました。 上伊那北部ブロック3事業所で、虐待防止委員会を立ち上げました。 感染レベルに応じた活動範囲を示したマニュアルの作成や、対応マニュアルの見直しを行いました。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> 安定的な利用者確保、利用を高める工夫(ニーズの多様化に対応) 養護学校などの実習生、保護者に事業所の魅力を積極的に発信する取り組み。 				

事業所名		特記事項				
15 辰野町 障がい者 就労支援 センター	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
	就労継続支援B型	20	21	24	4	
	事業名	実績		備考		
	相談支援(特定)	計画 24件、モタリング 14件				
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額	
		令和3年度	48,280,821	48,477,390	△196,569	
		令和4年度	47,785,615	41,113,225	6,672,390	
	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> ・製麺班 コロナ禍のイベント縮小により対面販売の機会は減少したが、注文販売は堅調で大幅な収入減とはなっていません。消費者ニーズに応じた新たなギフトセットの提案により、大きな反響があったことは収穫でした。 ・軽作業班 企業からの内職作業量が激減し収入の大幅減となってしまいました。今後は、安定した受注確保のために圏域の就労継続支援B型事業所ネットワークの連携強化を目指したいと思います。 ・移動販売車 地域のイベント参加、辰野・箕輪町役場、伊那合庁での定期的な出店など収益目的に加え、広告塔としての役割を担っています。 				
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・提供するサービスの質の向上のために、事業所が果たすべき役割について職員会等で確認をしてきました。具体的には、個別支援計画の実効性を高めるためのアセスメントシートを新たに作成して取り組んできました。 ・保健センター「ぬくもりの里」の借用継続について、辰野町と協議を行いました。その結果、来年度中には一定の方向性を示す旨の回答を得ています。 				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・受託作業は企業の景気に左右され見通しが立たない。 ・製麺に係る材料費の高騰。 ・ぬくもり号の販売に従事できる職員の配置。 ・製品販路の工夫と営業活動。 				

事業所名		特記事項 ()は登録者の数				
16 辰野町 地域活動 支援 センター	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異	
	地域活動支援センター	20	10 (13)	8 (8)	△12	
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額	
		令和3年度	13,265,148	13,013,671	251,477	
		令和4年度	13,170,762	12,990,963	179,799	
	サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> ・創作的活動 絵画、手工芸、カレンダー製作など、年間をとおした活動としました。作品発表の場や、作品展示の場を得ながら活動発表の機会としました。 ・作業的活動 一般企業に納品する「ウエス」作りを行いました。 ・余暇的活動 利用者個々の希望や嗜好に合わせ、個別に取り組める活動を保障しました。また、カラオケタイム、ドライブ外出、調理実習などの楽しみの時間も日課の中に組み入れました。 ・地域交流活動 ボランティア講師を招致して、「おはなしの会」「手話ダンス」「出張スポーツ教室」などの取組を通年実施しました。 				
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・辰野町から第IV期指定管理者として、本年度から5年間の指定を受け初年度の事業を展開しました。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者数の減少や、一日の平均利用率が5.7名という現状について、今後利用者をどう確保できるのかが大きな課題と受け止めています。活動内容の広報や、利用ニーズの掘り起こしといった取り組みが求められています。 					

(4) 上伊那南部ブロック

事業所名	特記事項				
	事業名	定員	年度当初	年度末	定員との差異
駒ヶ根	施設入所支援	93	85	84	△9
	生活介護	125	120	116	△9
	自立訓練	10			—
	就労継続支援 A 型	20	12	12	△8
宮田	施設入所	30	10	9	△21
	生活介護	20	14	14	0
	就労移行支援	6	1	0	△6
	就労継続支援 B 型	34	44	38	4
事業名		実績			
相談支援 (一般)		地域移行支援 0 件		地域定着 6 件	
相談支援 (特定)		計画 182 件 モニタリング 213 件		前年度比 (108.3 102.4%)	
駒ヶ根支援事業所					
収支状況	年度	収入	支出	収支差額	
	令和 3 年度	767,783,143	777,246,559	△9,463,416	
	令和 4 年度	802,031,177	773,083,766	28,947,411	
宮田支援事業所					
収支状況	年度	収入	支出	収支差額	
	令和 3 年度	184,424,507	190,749,993	△6,325,486	
	令和 4 年度	200,684,503	196,159,343	4,525,160	
サービス業務	<ul style="list-style-type: none"> 支援状況調査を行いその結果に基づき、入所支援と日中活動の職員の一体的な支援体制の試行を行い、令和 5 年度から実施することになりました。(ひまわり支援課) 就労継続支援 A 型では事業内容の見直しを行い、西駒会館の食事の提供と売店の営業を 12 月から中止することになりました。 「わーく西駒」就労継続 A 型 令和 4 年度平均工賃 88,341 円 (前年比 113.0%) 「わーく宮田」就労継続 B 型・就労移行支援 同上 20,100 円 (前年比 98.6%) 地元地区との新たな連絡協議会「下平区・大久保区・西駒郷連絡協議会」の設立総会を 8 月 30 日に開催し、協議会が発足しました。 アトリエ「風と太陽」は新型コロナ感染拡大のため 2 回 (6、3 月) のみの開催、中学校は中止となるが他施設 (阿南学園) からの依頼でワークショップ 3 回実施「ほっと展」開催後 2 月その巡回展を他の 3 施設の作品と合わせ下條村で開催 				
	管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師招聘による「強度行動障害研修」を再開し、年 7 回開催しました。またその実践報告会を自立支援協議会の研修会と共催し、オンラインでも配信しました。 事業団の「先進施設長期派遣研修」に 1 人がはるにれの里に派遣されました。 外部講師による怒りの感情に対する対処を学ぶ研修「ペアレントトレーニング」を全 6 回開催し、13 人の職員が継続して参加しました。 開始された「西駒郷機能強化事業」推進のため、所内検討委員会 (施設整備、利用者調整、強度行動障害者支援体制) を設置し、県との協議を行いました。 宮田支援事業部 (障害者支援施設・多機能型事業所) が福祉サービス第三者評価を受審し、評価内容をサービスの質の向上に役立てました。 新型コロナワクチン接種 入所利用者・職員への接種 (4 回目: 9 月) (5 回目: 2 月) 新型コロナウイルス感染症感染者 入所利用者: 8 人 通所利用者: 22 人 職員: 35 人 			
課題		<ul style="list-style-type: none"> 県立施設としての役割と機能強化 (強度行動障がい専用エリア施行に向けた支援内容・支援体制の確立、就労支援事業の今後のあり方 等) 職員確保と人材育成 (慢性的な人材不足の解消、外部講師による研修、スペシャリスト養成のための長期派遣研修等) 障がい特性に応じた支援 (機能分析に基づくアセスメントシートの整備等) 			

17
長野県
西駒郷

事業所名		特記事項			
18 上伊那 圏域 障がい者 総合 支援 センター	事業名	相談件数	相談人数	件数対前年比 (%)	人数対前年比 (%)
	相談支援	9,210 (延 21,491)	614	91.9% (100.4%)	89.5%
	就業・生活支援C	3,077	386	109.5%	98.5%
	収支状況	年度	収入	支出	収支差額
		令和3年度	88,896,023	85,233,038	3,662,985
		令和4年度	87,810,128	86,767,731	1,042,397
	サービス業務	<p><基幹相談支援センター> 基幹相談支援センター及び自立支援協議会の役割について市町村職員研修を行い、より協働した活動につながりました。相談内容が多岐にわたる傾向があり、相談人数は減少したものの相談延件数が増加しました。</p> <p><障がい児等療育支援事業> 巡回等相談機能の充実を進め、専門職員（OT/PT/ST等）を派遣講師として確保し、特別支援学校や福祉事業所等へ129回派遣しました。</p> <p><障害者就業・生活支援センター事業> 在職者交流会及び就労移行支援事業所に向けた出前講座を計5回実施しました。求職者の職場実習は44人が実施し、うち34人が就職しました。</p>			
	管理業務	<p><人材育成> 復命及び外部講師による所内研修を、月1回実施しました。また、外部研修の受講を推奨し、38回延べ85人が参加しました。</p> <p><効率的・自立的な施設運営> 国等からの各種事業の受託は、総合的相談支援を可能とする当事業所の強みであり経営の基盤となっています。引き続き委託先との対話を重ね、着実な業務執行を行います。</p>			
	課題	<p>・基幹相談支援センターの役割 （困難ケースの対応、地域の体制づくり等）は地域に認知されているが、障がい児相談の受入先が少なく業務を圧迫している。</p>			

(5) 障がい者福祉センターブロック

事業所名		特記事項			
事業名		前年度実績	本年度実績	対前年比	備考
19 長野県 障がい者 福祉 センター	サンアップル	43,193	65,827	152.4%	年間利用者数 R4 79,329人 R3 55,248人 R2 49,796人
	ながの	1,197	1,995	166.7%	
	駒ヶ根	6,397	6,493	101.5%	
	まつもと	2,183	2,498	114.4%	
	佐久	2,278	2,579	113.2%	
	合計	55,248	79,392	143.7%	
	収支状況	年度	収入	支出	
	令和3年度	274,289,312	269,473,225	4,816,087	
	令和4年度	286,410,338	278,686,062	7,724,276	
文化・スポーツ支援業務	<p><文化事業> 長野県障がい者文化芸術祭を9月24日・25日にサンアップル体育館にて開催しました。ステージイベント・クラフト体験会は新型コロナ感染のため中止したが、6部門444点の作品と川柳作品70句を展示しました。昨年に引き続き、10月から全作品をホームページで鑑賞できる「WEB展示会」を開催しました。</p> <p><スポーツ事業> 新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、教室を中止する判断前に代替案を用意し、極力事業実施に努めました。競技団体の普及イベントにパラスポーツDAYを併せ体験会を実施しました。(シッティングバレー、ゴールボール、ブラインドサッカー、車イスラグビー) 昨年に引き続き、Live配信によるストレッチ・リズム体操を行うなど、直接支援とオンライン活用支援を併用しながら事業を行いました。</p>				
管理業務	<p><新型コロナウイルス感染症の影響> 今年度は感染状況に関わらず、サンアップルにおいては、通年営業を行うことができました。ただし、サンスポーツ駒ヶ根のプール営業は看護大学の感染対策方針のもと、6月中旬までプール休館となりました。</p> <p><原油価格高騰の影響> 電気代は対前年比、使用量が103.8%、料金が146.1%と大幅に増額し、灯油代は98.5%、101.8%の増となりました。特に、電気代は約790万円の増額、県より指定管理料の追加交付を受けました。</p> <p><防災安全管理> 令和元年の台風災害を教訓に浸水被害を想定した水防訓練(土のう・止水版の設置訓練)を実施するほか、情報収集から利用者の避難誘導を行う洪水時避難訓練を実施しました。</p> <p><施設修繕> 建設から25年を経過し、空調設備、給水設備、浴室の修繕等を行うほか、プール放送設備の修繕も数回実施するなど緊急対応する機会が増えました。</p>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料代の高騰による経費負担(温水プール昇温、維持等) ・第4次中期構想に基づく利用者の確保 ・台風19号災害の建物被害の復旧工事による休館、新型コロナウイルス感染症防止対策による利用制限等の影響で減少した従前の利用者の呼び戻し 				

(6) 泉平ハイツブロック

事業所名	特記事項 (人)					
	事業名	定員	年度末数	前年同期	前年比	
20 泉平 ハイツ	介護老人福祉施設	74	71	71	100.0%	
	短期入所生活介護	16	延 4,960	延 5,176	95.8%	
	通所介護	25	延 3,536	延 4,462	79.2%	
	認知症対応型共同生活介護	18	17	16	106.3%	
	居宅介護支援事業	35	36	35	102.9%	
	収支状況	年度	収 入	支 出	収支差額	
		令和3年度	518,310,874	502,234,979	16,075,895	
		令和4年度	509,384,308	509,735,385	△351,077	
	サービス (高齢者介護) 業務	<p><施設・居住系サービス> (介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護) マスクで表情が分かりづらい状況でしたが、利用者お一人おひとりの状態の観察を注意深く行うと共に、職員はマスク越しでも笑顔を決やさずコミュニケーションを多くとり、より良いケアに努めました。 外出や面会などの規制や行事が中止される中、利用者楽しんでいただけるようグループ毎に余暇活動を実施しました。</p> <p><通所、短期入所サービス> (通所介護、短期入所生活介護) 家族の入院や他施設のコロナ感染症による受入停止のため、緊急ショートステイ利用の対応ケースが多くみられました。そのため、慣れない環境で過ごす不安へのケアと在宅へ戻った際に身体機能が維持できているケアを重視し、在宅時のケアの把握、個室の対応、マッサージ等在宅時に受けているサービスの受け入れなどを行いました。</p> <p><居宅介護支援事業> 利用者の“望む暮らし”を目指したサービス計画を作成しました。個々のアセスメントを実施し、適切なケアマネジメントを行いました。</p>				
	管理 業務	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナなど感染症対策に取り組みましたが、10月に特養ハイツ(ショートステイ)において、新型コロナの集団感染が発生したため、ショートステイの受入れを停止するとともに感染拡大防止対策の徹底を図りました。 また、デイサービスでは、利用者及び職員に感染者や濃厚接触者が発生したため、休業もりましたが、感染防止対策を講じながらサービスの提供に努めました。 ・特養(ショートステイを含む)に係る災害及び感染症発生時の業務継続計画を作成しました。 ・特養では、ICT推進係を設置して専門技術者から指導を受け、それを全職員が習得できるよう伝達、周知を図りました。令和5年4月からは介護記録の電子化が本格稼働となり、多職種の情報共有と業務の効率化を図ります。 				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建物及び設備、備品類の老朽化への対応と計画的な更新 ・光熱水費や食材費等の高騰による経費負担増 ・常態的な職員不足と人材育成 					

<抜粋資料>

就労支援事業所の工賃

事業所	売上高 (千円)	労務費 (千円)	月平均工賃 (円)	前年比 (円)	月平均工賃 最高額等 (円)
八雲日和 (就労B型)	13,567	5,842	25,074	△748	最高額 56,780 最低額 3,061
小春日和 (就労移行)	467	467	17,327	1,853	最高額 18,400 最低額 900
小春日和 (就労B型)	9,616	4,546	15,104	△682	最高額 25,140 最低額 100
こぶし (地活)	376	0	3,133	60	最高額 7,914 最低額 600
松本ひよこ (就労B型)	4,567	2,007	10,258	△809	最高額 25,669 最低額 1,602
伊那ゆいま～る (就労B型)	30,12	2,476	10,318	△2,183	最高額 16,664 最低額 320
ほっとジョイブ (就労B型)	17,477	6,295	20,178	△3,483	最高額 46,600 最低額 2,240
辰野町就労センター (就労B型)	10,294	5,232	24,207	△876	最高額 139,204 最低額 5,280
辰野町地活動センター (地活)	284	60	714	49	最高額 17,213 最低額 559
西駒郷わーく西駒 (就労A型)	23,662	12,721	88,341	10,173	最高額 97,748 最低額 68,124
西駒郷わーく宮田 (就労移行・就労B型)	17,110	10,110	20,100	626	最高額 40,260 最低額 13,227

令和4年度 事業報告

資料編

目次

<資料-1>

事業所の防災・防犯に対する取組状況	・・・ 1
防災協定の締結状況	・・・ 2
広報紙等発行状況	
各事業所研修実施状況	・・・ 3
主な世話人研修実施状況	・・・ 5

<資料-2>

各事業所の状況	
○成人入所施設利用者の支援	
入所定員と現員／成人施設年齢構成	
成人施設障害支援区分	・・・ 6
○児童福祉施設利用者の支援	
入所施設の居室の状況	・・・ 7
○共同生活援助の状況	・・・ 8
グループホーム及び利用者数／GH年齢構成	
GH障害支援区分 年金取得 工賃の取得／日中活動の状況	・・・ 9
○日中活動の場の状況／充実	
通所事業所の事業実施概要	
通所事業所の事業内容	・・・ 10
○利用者の健康管理	・・・ 11
看護師配置状況	
健康診断等実施状況	・・・ 12
○食事の提供	
○障がい者福祉センター事業	・・・ 13
主な文化事業実施状況／主なスポーツ事業実施状況	
地域スポーツ支援リーダーの活動	
○利用者本位のサービスの提供と社会的評価の促進	・・・ 14
本人部会 充実への協力	
○家族との連携	
事業所と家族の連携・協力状況	・・・ 15
○地域・ボランティアとの連携	
地域での学習会、教室の開催／地域住民との主な連携状況	・・・ 16
サービス充実の主なボランティア受入状況	・・・ 17
○入所施設利用者の地域生活移行の推進	・・・ 18
平成 14 年度以降の地域生活移行者数	
○居宅介護サービスの状況／相談支援事業の状況	・・・ 19
○余暇(スポーツ(運動)・文化)活動支援体制の整備	
○泉平ハイツ状況	・・・ 22
介護度別利用者数／年齢別利用者数／在所期間別利用者数	・・・ 23
デイサービス／グループホーム／	

<資料-1>

○事業所の防災・防犯に対する取組状況 (アンダーラインは新たな取り組み)

事業所名	防災訓練	防犯訓練等	特記事項
水内荘	避難・消火・通報訓練	<u>防犯カメラ設置についての検討</u>	夜間、休日想定避難訓練実施
みのちGHC	避難・通報訓練	<u>世話人伝達方法の確認</u>	防災機器定期点検
歩楽里	避難訓練 (6回)		水害時避難訓練実施 洪水時の避難確保計画提出
八雲日和	避難・消火・通報訓練 水害による避難	対応方法の確認 非常持出袋の内容確認	長野市へ訓練実施報告
小春日和	避難・消火・通報訓練 水害による避難	防犯セキュリティーの設置	器具類の安全点検
こぶし	避難・消火訓練	対応方法の確認	他入居団体と合同で実施
長野県信濃学園	避難訓練 (12回)	防犯訓練はWEBにより実施。	地域防災懇談会(波田学院及び地元20区町会住民参加)
松本あさひ学園	避難・通報・消火訓練	防犯カメラ、玄関等施錠の徹底	旭町庁舎、あさひ分校との合同訓練の実施、 <u>事業継続計画(BCP)の策定</u>
松本ひよこ	避難・誘導・通報・消火訓練 消防設備点検実施	対応方法の確認	消防署、防災設備業者の立ち合いで訓練実施(2回)
ほっと上伊那	避難誘導・通報訓練 全ホームの消防設備点検実施		洪水浸水想定区域(6件)避難確保計画の提出(関係市町村)と訓練 <u>災害時の避難場所を伊那ゆいまーるほっと上伊那事務所に準備。</u> <u>各ホームに非常食の他、使い捨て食器、ポータブルトイレの常時配置</u>
伊那ゆいまーる	所内での避難・通報・消火訓練 中央区防災訓練	対応方法の確認	火災・地震訓練 水害地震タイムラインに従い、 <u>情報伝達、指示、避難確認</u>
ほっとジョイブ	避難・消火訓練	警察官による講習	防犯カメラの設置、24時間体制監視体制、南箕輪村との福祉避難所設置訓練
辰野町就労・地活センター	避難・通報訓練	対応方法の確認	水害を想定した避難訓練の実施
西駒郷	総合防災訓練、避難・通報・消火訓練 (14回)	非常通報装置、外部監視カメラ、防犯灯の設置	宮田村大久保区の防災訓練への参加
上伊那圏域障がい者総合支援センター	情報伝達訓練 初動対応訓練		<u>災害用品の備蓄</u>
障がい者福祉センター	火災避難・通報・消火訓練 水防・洪水時等避難訓練		洪水時避難訓練
泉平ハイツ	避難・通報・消火訓練	防犯カメラ(玄関)	豊野区、水内荘との合同防災訓練(4年度は新型コロナのため中止)

○防災協定の締結状況

事業所名	協定締結	内容
水内荘	豊野区自主防災会	水害時の一時避難所として地域住民の受け入れに関する協定書
	豊野区、泉平ハイツ	災害時の避難応援、合同防災訓練の実施
信濃学園	波田学院、松本市波田20区町会	地域の独居者受け入れ
ほっと上伊那	伊那市	災害時の地域の障がい児者の緊急避難場所
伊那ゆいま〜る	伊那市	
ほっとジョイブ	南箕輪村	南箕輪村との災害時における要援護者に受け入れに関する協定書
西駒郷	駒ヶ根市下平区、こころの医療センター駒ヶ根、宮田村大久保区	災害発生時等利用者の生命安全のために必要な応援協力（2地区同様）
障がい者福祉センター	長野市下駒沢区	災害時の避難応援、合同防災訓練の実施、一時避難場所の提供、プールの水の提供
泉平ハイツ	豊野区、水内荘	災害時の避難応援、合同防災訓練の実施

○広報紙等発行状況

やまなみ発行月	特集記事	発行先	発行部数
令和4年度発行なし			

事業所	発行開始年度	広報紙名	回数	対象
長野ブロック事業所	H25	水内荘グループ便り 通常	2	利用者、保護者、関係機関
水内荘		ホームページ	適宜	家族、関係機関、地域住民等 イベントや活動の様子等掲載
みのちGHC	H25	みのちGHセンター通信	2	保護者
	H22	ふらっと余暇情報紙	0	利用者
歩楽里	H17	ふらりだより	12	利用者、保護者、関係機関
八雲日和	H25	せいかつかいごだより	3	保護者
小春日和	H30	就労移行支援だより	0	就労移行支援利用者、保護者
こぶし	H23	こぶしだより	0	利用者、保護者、関係機関
長野県信濃学園	S57	信濃学園通信	3	地域住民、関係機関
	H19	なないろ通信	3	保護者
松本あさひ学園	H23	ふれあい	3	保護者、連盟加盟施設、全児心加盟施設、関係機関等
松本ひよこ	H21	ひよこ通信	12	利用者（毎月） 関係機関（年2回）
	H27	ひよこほのぼの通信	1	関係機関、地域、パン販売先
	H29	ハイツ通信	4	保護者、地域住民
ほっと上伊那	H14	ほっとひといき	2	利用者、保護者、職員

伊那ゆいま〜る	H21	ゆいま〜るだより	2	利用者、保護者、職員、関係機関
ほっとジョイブ	R1	ジョイブ通信	2	利用者、保護者、関係機関 近隣住民
辰野町就労・地活C	H21	工房ぬくもりだより	2	利用者、保護者、関係機関、企業
		広報たつの寄稿	12	地域住民
西駒郷	S44	にしこまごうだより	2	利用者、保護者、職員、関係機関・ 団体
上伊那圏域障がい者 総合支援センター	H17	はあとびあ	1	事業所、市町村、関係機関、利用 者、職員
障がい者福祉センタ ー	H10	まるかじりサンアップ ル	4	県内関係団体、市町村社協、県外 障がい者スポーツセンター等
泉平ハイツ	H8	いずみだいら通信	2	利用者家族、関係機関、地域住民
	H16	泉平ファミリー新聞	12	利用者家族、関係機関、地域住民
	H23	けやき通信	12	利用者家族

各事業所研修実施状況

○研修実施状況

(単位：回、人)

事業所		事業所内研修			
		回数	実人数	延人数	内容
長野	水内荘	15	35	180	権利擁護研修、長野ブロック研修、感染症対策
	みのちGHセンター	3	8	24	長野ブロック研修、虐待防止権利擁護、感染症対応
	歩楽里	2	14	28	強度行動障がい、コロナ感染対策
	八雲日和	2	15	30	虐待防止、コロナ感染対策
	小春日和	2	16	16	長野ブロック研修、虐待防止権利擁護研修
	こぶし	1	1	1	長野ブロック研修
松本	長野県信濃学園	15	28	126	自閉症療育支援事業、職員研修、ケース検討会
	松本あさひ学園	5	28	125	支援の基本、虐待防止、個人情報等
	松本ひよこ	5	38	61	虐待防止権利擁護
	大北圏域障がい者就業・ 生活支援センター	2	3	6	外部研修等伝達研修
	松本児童家庭支援 センターあいく	2	1	2	事業団心理職員研修
上伊那北部	ほっと上伊那	4	143	158	人権擁護虐待防止、感染防止、意思決定支援等
	伊那ゆいま〜る	3	35	73	事業団理念概要等、虐待防止
	ほっとジョイブ	5	17	35	虐待、防犯研修、事業団事業所理念概要等
	辰野町就労・地活	2	10	20	虐待防止、意思決定支援、防犯
上伊	西駒郷	15	60	205	初任者、強度行動障害、虐待防止、個別支援 計画、実践報告会
	上伊那圏域障がい者 総合支援センター	12	17	204	きらりあ研修 (毎月第3火曜日)

サン	障がい者福祉センター	3	31	62	全体研修（コンプライアンス、個人情報保護）、スポーツ課研修、総務課研修
事業所		視察等事業所外研修			
		回数	実人数	延人数	内容
長野	水内荘	40	22	66	強度行動障がい支援者養成研修、権利擁護虐待防止研修、BCP策定研修等
	みのちGHC	18	8	32	虐待防止権利擁護、強度行動障がい者支援者養成、感染症対策、応急手当普及員、
	歩楽里	17	10	22	強度行動障がい従事者養成、虐待防止・権利擁護研修、長野市障害ふくしネット等
	八雲日和	3	3	3	サビ管更新、食品衛生責任者研修 虐待防止権利擁護研修
	小春日和	5	3	6	虐待防止権利擁護研修、福祉職員生涯研修 相談支援、職業リハビリテーション研究発表
	こぶし	1	2	2	虐待防止・権利擁護、長野市障害ふくしネット
松本	長野県信濃学園	44	13	63	知障協自閉症、精神科セミナー、新型コロナウイルス感染症対策研修会等（WEB）
	松本あさひ学園	15	11	15	全児心修. こどもの虹研修、養護施設等研修
	松本ひよこ	14	8	23	サビ管、相談支援、福祉職員生涯、BCP策定、苦情対応システム、虐待防止権利擁護、安全運転管理者
	大北圏域障がい者・生活支援センター	2	2	2	県障がい者雇用フォーラム 県自立支援協議会就労支援部会研修会
	松本児童家庭支援センターあいく	20	2	20	サポートマネージャー研修、精神保健福祉研修（ひきこもり）、全国児童家庭支援センター協議会研修
上伊那北部	ほっと上伊那	12	7	13	サービス管理責任者更新、相談支援従事者現任研修、防火管理者研修等
	伊那ゆいま〜る	12	8	12	虐待防止、法律、サービス管理責任者更新、管理者（外）チームリーダー（外）相談（外）行動障がい者（外）
	ほっとジョイブ	7	6	7	安全運転管理者・管理者研修・自立支援研修・食品衛生責任者研修、講習等
	辰野町就労・地活	2	2	4	虐待防止及び意思決定支援、食品衛生責任者
上伊那南部	西駒郷	123	57	234	サビ管、相談支援自閉症・精神領域セミナー、強度行動障害、他 web 開催セミナー等
	上伊那圏域障がい者総合支援センター	30	14	73	相談支援、労務管理・人材育成、虐待防止、発達障がい、子どものトラウマ等
サン	障がい者福祉センター	3	3	4	サビ管・児発管（更新）、リーダー研修

○主な世話人研修実施状況

(単位：回)

事業所	項目	世話人研修会	世話人定例会	ホーム世話人会
みのちGHセンター	回数	3	1	34
	内容	支援スキルアップ 感染予防	年間予定、虐待防止・権利擁護、業務・医務・防災等マニュアルの確認、 ガウンテクニック	保健訪問、健康管理、生活支援
松本ひよこ	回数	2	0	7
	内容	松本圏域 GH 世話人研修会、虐待防止権利擁護		三郷 3 回、島内 4 回
ほっと上伊那	回数	全体会 0		各ホーム毎 8
	内容			利用者状況把握検討 虐待防止、障がい理解 感染防止

<資料-2>

各事業所の状況

1 生活の場の充実

(1) 成人入所施設利用者の支援

○入所定員と現員 令和4年3月31日現在

(単位：人)

事業所		定員	現員	前年度現員との増減
水内荘		40	40 (40)	0
西駒郷	駒ヶ根支援事業部	93	84 (85)	△1
	宮田支援事業部	30	9 (10)	△1
	合計	123	93 (95)	△2
合計		163	133 (135)	△4

注：() は、令和4年3月31日の現員

○成人施設年齢構成

(単位：人、%)

区分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	備考(歳)
水内荘	人数	1	3	0	8	12	5	7	4	40	平均 56.5 歳 最年少 19 歳 最年長 83 歳
	構成比	2.5	7.5	0.0	20.0	30.0	12.5	17.5	10.0	100	
西駒郷	人数	2	5	2	24	46	7	6	1	93	平均 51.3 歳 最年少 19 歳 最年長 80 歳
	構成比	2.1	5.4	2.1	25.8	49.5	7.5	6.5	1.1	100	
合計	人数	3	8	2	32	58	12	13	5	133	平均 53.9 歳 最年少 19 歳 最年長 83 歳
	構成比	2.2	6.0	1.5	24.0	43.6	9.0	9.7	3.7	100	

○成人施設障害支援区分

(単位：人、%)

区 分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計	平 均
水内荘	人数	0	0	0	11	19	10	40	5.0
	構成比	0.0	0.0	0.0	27.5	47.5	25.0	100	
西駒郷	人数	0	0	0	7	32	54	93	5.5
	構成比	0.0	0.0	0.0	7.5	34.4	58.1	100	
合 計	人数	0	0	0	18	51	64	133	5.3
	構成比	0.0	0.0	0.0	13.5	38.3	48.1	100	

(2) 児童福祉施設利用者の支援

○定員と現員

(単位：人)

事業所名	定 員		現 員	
	入 所	通 所	入 所	通 所
長野県信濃学園	30		26	
松本あさひ学園	30	5	13	8
合 計	60	5	39	8

○長野県信濃学園年齢構成

(単位：人)

年齢区分	男	女	合計	措置	契約	年齢区分	男	女	合計	措置	契約
6歳未満	0	0	0	0	0	18~20歳未満	0	0	0	0	0
6~9歳未満	1	0	1	0	1	20歳以上	0	0	0	0	0
9~12歳未満	1	1	2	1	1	18歳以上小計	0	0	0	0	0
12~15歳未満	4	6	10	5	5	利用者合計	16	10	26	12	14
15~18歳未満	10	3	13	6	7	平均年齢	14.1	13.8	14.0		
18歳未満小計	16	10	26	12	14	最高年齢	17	17	18		

○松本あさひ学園在園期間

(単位：人)

期 間	3か月未満	3か月~6か月未満	6か月~1年未満	1年~1年半未満	1年半~2年未満	2年~3年未満	3年以上	計
人 数	1	3	2 (3)	2	1 (2)	3 (1)	1	13 (6)

○松本あさひ学園入退所状況

(単位：人) ()は通所の数

区 分		令和4年3月末 在籍者数	令和年度中の入退所者		令和4年3月末 在籍者数
			新規入所	退 所	
小 学 生	男	7 (2)	4 (2)	0	8(3)
	女	2	1 (1)	0	2(1)
	小計	9 (2)	5 (3)	0	10(4)
中 学 生	男	3 (1)	0	3(1)	3(1)
	女	1 (1)	0	2	(1)
	小計	4 (2)	0	5	3(2)

合 計	13 (4)	0	5(1)	13(6)
-----	--------	---	------	-------

(2) 入所施設の居室の状況 (単位：室)

事業所	水内荘	長野県 信濃学園	松本 あさひ学園	西駒郷			合 計
				入所施設		入所施設 (すみれホーム)	
				駒ヶ根支援 事業部	宮田支援 事業部		
1人部屋	18	20	20	93	5	5	161
2人部屋	14	5	5	0	0	0	24
合 計	32	25	25	93	5	5	185

(4) 共同生活援助の状況

○グループホーム及び利用者数

	GH数 (棟)			利用者数 (人) () は定員		
	3年度	4年度	増減	3年度	4年度	増減
みのちGHC	10	9	△1	51 (52)	49 (52)	△2
松本ひよこ	4	4	0	23 (23)	23 (23)	0
ほっと上伊那	22	22	0	117 (125)	106 (121)	△11
合 計	36	35	△1	191 (200)	178 (196)	△13

○GH年齢構成

(単位：人、%)

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	合 計	備考	
みのちGHC	0	2	2	2	6	7	30	49	平均 67.8歳 最年少 25歳 最年長 85歳	
構 成 比	0.0	4.1	4.1	4.1	12.2	14.3	61.2	100		
松本ひよこ	0	2	2	7	8	2	2	23	平均 51.6歳 最年少 23歳 最年長 83歳	
構 成 比	0.0	8.7	8.7	30.4	34.8	8.7	8.7	100		
ほっと上伊那	0	2	6	21	28	29	20	106	平均 57.4歳 最年少 25歳 最年長 83歳	
構 成 比	0.0	2.6	5.1	23.1	23.9	27.1	16.0	100		
4 年度	合計	0	6	10	30	42	38	52	178	平均 58.9歳 最年少 23歳 最年長 85歳
	構成比	0.0	3.3	5.6	16.8	23.5	21.3	29.2	100	
3 年度	合計	0	7	10	39	41	42	53	191	
	構成比	0.0	3.6	5.2	20.0	21.5	22.0	27.7	100	

(令和5年3月31日現在)

○GH障害支援区分

(単位：人、%)

区 分	障害支援区分								平均	
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	合 計		
みのちGHセンター	0	6	23	18	2	0	0	49	3.4	
構 成 比	0.0	12.2	47.0	36.7	4.1	0.0	0.0	100		
松本ひよこ	0	1	5	2	6	9	0	23	4.74	
構 成 比	0.0	4.4	21.7	8.7	26.1	39.1	0.0	100		
ほっと上伊那	0	8	23	35	19	21	0	106	4.2	
構 成 比	0.0	7.5	21.7	33.0	217.9	19.7	0.0	100		
4年度	合 計	0	15	51	55	27	30	0	178	4.1
	構成比	0.0	8.4	28.6	30.8	15.1	16.8	0.0	100	
3年度	合 計	0	18	50	57	34	32	0	191	4.1
	構成比	0.0	9.4	26.1	29.8	17.8	16.7	0.0	100	

(平成5年3月31日現在)

○年金取得

(単位：人、%)

区 分	年 金				
	1 級	2 級	未受給等	合 計	
みのちGHセンター	21	27	1 (老齢厚生併給)	49	
構 成 比	49.1	50.9	(15.6)	100	
松本ひよこ	16	7	0	23	
構 成 比	69.6	30.4	0.0	100	
ほっと上伊那	43	59	4 (老齢厚生)	106	
構 成 比	40.6	55.7	3.8	100	
4年度	合 計	80	93	5	178
	構成比	44.9	52.2	2.8	100
3年度	合 計	88	98	5	191
	構成比	46.0	51.3	2.6	100

(平成5年3月31日現在)

○工賃の取得 (月額)

(単位：人、%)

区 分	1万円未満	1万円～	2万円～	3万円～	4万円～	5万円～	6万円～	7万円～	合 計
みのちGHC	35	8	3	2	1	0	0	0	49
構 成 比	71.4	16.3	6.2	4.1	2.0	0.0	0.0	0.0	100
松本ひよこ	20	2	1	0	0	0	0	0	23
構 成 比	87.0	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
ほっと上伊那	63	21	11	1	3	0	0	7	106

構成比		59.4	20.0	10.4	0.9	2.8			6.6	100
4 年度	合計	118	31	15	4	4	0	0	7	178
	構成比	66.2	17.4	8.4	2.2	2.2	0.0	0.0	3.9	100
3 年度	合計	132	31	13	3	3	0	0	7	191
	構成比	69.1	16.2	6.8	1.5	1.5	0.0	0.0	6	100

(令和5年3月31日現在)

○日中活動の状況

(単位：人、%)

区 分	一般 就労	就労支援事業所		共同作業所・地活		通所・生活介護		利用 なし	合 計	
		事業団	その他	事業団	その他	事業団	その他			
みのちGHC	2	13	0	7	0	19	0	8	49	
構成比	4.1	26.5		14.3		38.8		16.3	100	
松本ひよこ	0	2	1	0	0	17	3	0	23	
構成比	0.0	13.0		0.0		87.0		0.0	100	
ほっと上伊那	8	31	13	2	8	41	10	2	106 (重複7)	
構成比	7.1	37.2		8.8		45.1		1.8	100	
4 年度	合計	10	46	14	9	8	77	13	10	178
	構成比	5.6	25.8	7.8	5.0	4.4	43.2	7.3	5.6	100
3 年度	合計	11	46	14	9	9	85	13	9	191
	構成比	5.7	24.0	7.3	4.7	4.7	44.5	6.8	4.7	100

(令和5年3月31日現在)

2 日中活動の場の充実

○通所事業所の事業実施概要

(単位：人)

地域	事業所	事業名	開始年月日	定員 (人)	現員 (人)			
					合計	入所	GH	在宅等
長野	水内荘	生活介護	H23.1.1	60	62	40	21	1
	歩楽里	放デイ	H27.8.1	10	32	0	0	32
	八雲日和	生活介護	H19.4.1	20	15	5	0	10
		就労B型	H19.4.1	20	19	0	12	7
	小春日和	就労移行	H24.4.1	6	2	0	0	2
		就労定着	R1.6.1	—	5	0	0	5
		就労B型	H26.4.1	14	27	0	2	25
こぶし	地活Ⅲ型	H19.1.1	15	12	0	6	6	
松本	松本ひよこ	生活介護	H20.11.1	21	23	0	19	4
		就労B型	H23.11.1	18	16	0	5	11
	長野県信濃学園	生活介護	H25.4.1	—	—	—	—	—
	松本あさひ学園	心理治療	H23.4.1	5	6	0	0	6
	辰野就労センター	就労B型	H21.4.1	20	22	0	1	21
	辰野地活センター	地活Ⅰ型	H19.4.1	20	14	0	2	12

伊那ゆいま〜る	生活介護	H21. 4. 1	20	16	0	8	8
	就労B型	H21. 4. 1	20	26	0	2	24
ほっとジョイブ	生活介護	H30. 4. 1	20	20	0	8	12
	就労B型	H17. 10. 1	20	26	0	10	14
西駒郷 駒ヶ根日中支援課	生活介護	H23. 4. 1	125	116	80	24	12
	自立訓練 (生活訓練)	H23. 4. 1	10	休止			
西駒郷わーく西駒	就労A型	H23. 4. 1	20	12	0	3	9
西駒郷えこ宮田	生活介護	H23. 4. 1	20	14	6	7	1
西駒郷ワーク宮田	就労移行	H27. 4. 1	6	0	0	0	0
	就労B型	H23. 4. 1	34	38	7	17	14
合 計			524	523	138	147	236

*GHの人数とは、事業団のホーム利用者

○通所事業所の事業内容

地域	事業所	事業名	支援内容
長野	水内荘	生活介護	個別作業、軽スポーツ、レク活動、リハビリ訓練、環境緑化、ウォーキング、折り紙、体操、音遊び、フラダンス、創作活動(塗り絵、張り絵)、調理、季節行事等
	歩楽里	放課後等 デイサービス	障がい児の放課後や休日・長期休暇中の支援：外出(公園、外食、テイクアウトランチ、散策、買い物など)、紙芝居・DVD鑑賞、水あそび、雪遊び、おやつづくり等、週ごとの活動プログラム、選択活動(工作、スポーツ、ダンス) ※外出は今春の春休みより全面解除。
	八雲日和	生活介護	自主作業：リサイクル活動、家庭菜園 受託作業：町内プリンター設置 健康増進：創作活動
		就労継続 支援B型	自主作業：うどん・おやき・ドライフーズの製造販売、受託作業：セルブ斡旋事業、靴下作業、清掃作業、資源回収、麦ストロー加工
	小春日和	就労移行 支援	就労支援：職場体験、企業体験、生活支援 マナー支援：あいさつ、身支度、ルール、コミュニケーションスキル等
		就労定着 支援	定着支援：職場訪問、相談援助等
	こぶし	就労継続 支援B型	自主作業：弁当製造販売 受託作業：箱折り、部品組み立て、畑作業、施設清掃、えのき工場等
松本	長野県 信濃学園	地活Ⅲ型	受託作業：靴下加工、ボルト作業、きのこキャップ等 日中活動支援：創作活動、レクリエーション活動、外出等 健康増進・介護予防：ウォーキング、体操等
	長野県 信濃学園	生活介護	利用者不在のため実施せず
	松本あさひ学 園	心理治療	女鳥羽中学校・岡田小学校各あさひ分校・本校への通学、心理面接、診断治療、家族療法のプログラムにより支援、地域支援体制づくりへの協力
	松本ひよこ	生活介護	自主作業：陶芸、コーヒー豆焙煎、喫茶片付け、資源回収、受託作業：ノバキャップ、牛乳パック切り、資源物回収、日常生活支援：食事、入浴、排泄介助、絵画・陶芸・運動教室、調理実習、外出(買い物)支援

		就労継続支援B型	自主作業：パン販売・販売、ウエス作業 受託作業：他施設清掃（松本合庁）・クリーニング検品・たたみ作業（リネンなかしま）、封筒封入封緘（セルフセンター）、ボールペン検品・配列・そば梱包（あづみ野食品）・ポストイング（つむぎ整骨院）
上 伊 那	伊那ゆいま〜る	生活介護	身体介護支援、療育活動（リラクゼーション運動、身体ほぐし、創作ダンス） 生産活動（資源回収）、創作活動（音楽、運動、アート）、入浴
		就労継続支援B型	自主作業：木工、縫製、手芸 受託作業：軽作業、部品検査、清掃業務、受託販売
	ほっとジョイブ	就労継続支援B型	自主作業：パウムクーヘン、パン製造販売、手工芸品、農作物 受託作業：味噌カップラベル貼り、箸袋入れ、自動車部品組み立て、キノコキャップ
	辰野町就労センター	就労継続支援B型	自主作業：麺製造販売、ギフトセット製造販売、移動販売車 受託作業：塗装部品付け、清掃（1箇所）
	辰野町地活センター	地活Ⅲ型	自主作業…ウエス製作 受託作業…セルフ商品、アルミ缶回収、創作活動…カレンダー、絵画
	西駒郷 駒ヶ根日中支援課	生活介護	自主作業：手芸品製作、野菜栽培 受託作業：導線切り、ダンボール仕切り、リサイクル回収
		自立訓練（生活訓練）	
	西駒郷 わく西駒	就労継続支援A型	自主作業：豆腐・厚揚げ・どら焼き・焼き菓子の製造販売、西駒郷会館業務 受託作業：ひまわり支援課ハウスキーパー補助業務、ゴマ瓶詰め その他：一般就労に向けた学習会（講師きらりあ就業支援ワーカー）
	西駒郷 えこ宮田	生活介護	自主作業：野菜栽培・販売・加工、焼きいも販売、資源回収 受託作業：箱折り、シール貼り、かわら茸洗浄・乾燥、合庁清掃
	西駒郷 わく宮田	就労移行支援	就労支援：企業見学・実習、就職説明会 マナー支援：就労スキルアップ、あいさつ、身だしなみ、姿勢、面接練習
就労継続支援B型		自主作業：紬製品、薪・プリンター製造、椎茸栽培、リサイクル回収 受託作業：クリーニング、電子部品組立、トナーパック製作・運搬、薪製造、作業服部分加工、看護大清掃、農福連携	

3 利用者の健康管理

○看護師配置状況

（単位：人）

事業所名	人数	内容
水内荘	1（常勤） 1（常勤兼務） 1（パート兼務）	感染症対策として、引き続き換気、消毒、体調管理の徹底を図りました。また、感染症対策学習会を開催しました。新たに言語聴覚士、シューフィッター（靴の専門家）を取り入れ、日常生活の支援に活かしました。看護師の連携強化、業務の効率化を図るため、業務の検討、毎朝ミーティングを実施しました。
みのちGHセンター	1（常勤） 1（パート）	看護師を中心に各ホームへ保健訪問を隔月で行いました。コロナ感染があったため、世話人を含め改めてガウンテクニックの再確認をするとともに衛生管理の徹底を図りました。
八雲日和	1（常勤・兼務）	理学療法士による身体機能の維持訓練
長野県信濃学園	1（常勤）	健康管理、感染症対策、医療機関等との連携
松本あさひ学園	1（常勤）	感染症の予防、関係医療機関との連携、健康相談
松本ひよこ	1（パート）	健康診断等の実施にあたり嘱託医との連携、精神科の入院利用者への支援、グループホーム利用者健康チェック巡回（週1回）

ほっと上伊那	1 (常勤) 5 (パート)	看護師のホーム訪問 (月2回) 健康相談、食事、栄養アドバイス
伊那ゆいま〜る	2 (パート)	毎朝バイタルチェックを実施 (体調確認、メンタルケア、リラクゼーション運動)
ほっとジョイブ	1 (パート)	毎朝バイタルチェックを実施 (体調確認、メンタルケア、身体機能の維持運動)
西駒郷	4 (常勤) 言語聴覚士1(非常勤) 作業療法士1(非常勤)	感染症の予防・対策 (感染症対策指針及び新型コロナ対策マニュアル)、早めの病院受診、救急救命研修の実施、嚥下機能及び身体機能の評価、リハビリ・運動等のアドバイス
障がい者福祉センター	1 (常勤)	医療・保健全般に関すること、利用者初期面談、スポーツ健康相談、医療・保健機関との連絡調整
泉平ハイツ	5 (常勤) 2 (パート)	健康管理、機能訓練、感染症対策

○健康診断等実施状況

(単位：人、回)

事業所	体制			内容		
	看護師		保健委員会 /回年	定期健診回 数/回年	健診の種類 数/種年	健康相談回 数/回年
	常勤	パート				
水内荘	2	0	12	5	3	12
みのちGHセンター	1	1	12	1	3	12
八雲日和	1	0	12	0	2	12
小春日和	0	0	0	0	0	4
こぶし	0	0	0	0	2	12
長野県信濃学園	1	0	3	1	5	適宜
松本あさひ学園	1	0	6	1	0	適宜
松本ひよこ	0	1	0	1	0	適宜
ほっと上伊那	1	5	0	1	1	適宜
伊那ゆいま〜る	0	2	0	2	0	適宜
ほっとジョイブ	0	1	0	2	0	適宜
辰野町就労センター	0	0	0	2	0	適宜
辰野町地活センター	0	0	0	2	0	適宜
西駒郷	4	0	1	4	3	適宜
障がい者福祉センター	1	0	0			1
泉平ハイツ	5	2		1		

4 食事の提供

○ 食事提供の状況 (単位：年/回)

事業所名	提供方法	給食委員会	特記事項
水内荘	給食	10	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者：株式会社魚国総本社 行事食・特別食 (お花見弁当、みのちカフェ、パンランチの日、ウナギの日、だし巻きたまごショー、海鮮バラちらし丼、キッチンカー (クレープ、ラーメン) 水内荘創立 60 周年記念食等 医師が発行した食事箋に基づいた療養食提供 (14 名)
八雲日和	外注	なし	外注弁当 (小春日和)

小春日和	給食	なし	弁当を提供
こぶし	外注	なし	希望者に外注弁当（小春日和）
長野県信濃学園	給食	12	委託業者：三和商会 郷土食、節感のあるメニュー、誕生日の希望献立。
松本あさひ学園	給食	6	委託業者：(株)メフォス、常食・行事食の提供
松本ひよこ	外注	なし	外注弁当 きざみ
伊那ゆいま〜る	外注	なし	外注弁当 低カロリー、きざみ、柔らか食
ほっとジョイブ	外注給 (短期入所)	なし	刻み食、普通食対応 (夕朝の食事提供)
辰野町就労・地活 センター	外注	なし	外注弁当
西駒郷	給食	1	委託業者：(株)メフォス嚙下食、アレルギー対応食 選択メニュー、すしバイキング等
泉平ハイツ	給食	12	食事班が利用者の状況に応じた食事提供

5 障がい者福祉センター事業

○主な文化事業実施状況

(単位：回、人)

区 分	長野県障がい者文化芸術祭			交流イベント 舞台発表 鑑賞会	芸術作品 の展示会 (展示コーナー)	文化教室	文化活動 体験会
	展示会 (本展)	WEB 展示会	優秀作 品展等				
延べ 回数	—	—	5	4	13	17	3
参加者数	423	10,563	889	631	—	255	69

○主なスポーツ事業実施状況

(単位：回、人)

区 分	大会等 実人数	定期 教室 延人数	通年・半 期 教室 延人数	出張スポ ーツ教室 (対面・ WEB) 延人数	レク大会 健康増進 実人数	研修会 実人数	自由参加 プログラ ム 延人数	体育施 設開放 延人数	派遣 事業 実人数
サンアップル	3 (325)	14 (1,149)	3 (811)	△	2 (517)	2 (72)	6 (3,243)	△	△
サンスポ つながの	△	3 (351)	△	51 (984)	△	2 (25)	△	18 (256)	7 (104)
サンスポ 駒ヶ根	2 (168)	5 (435)	△	54 (863)	2 (224)	2 (66)	5 (313)	8 (90)	1 (50)
サンスポ まつもと	1 (45)	6 (345)	△	118 (1,448)	2 (99)	2 (20)	△	15 (161)	5 (175)
サンスポ 佐久	2 (200)	5 (351)	△	105 (1,464)	1 (76)	1 (14)	△	13 (392)	3 (165)
実施回数計	8	33	3	303	8	9	11	54	16
人数 計	738	2,631	811	4,759	916	197	3,556	899	494

注：() は、教室の参加人数

○地域スポーツ支援リーダーの活動

(単位：回、人)

地 域	リーダー数	指導回数等			内 容
		回 数	実人員	延人数	
北 信	7	3	1	3	出張スポーツ教室、定期水泳教室、研修会講師
東 信	8	6	1	6	
中 信	6	13	2	13	
南 信	9	0	0	0	
合 計	30	22	4	22	

6 利用者本位のサービスの提供と社会的評価の促進

○顧客満足度調査

事業所名	回数	対象	事業所名	回数	対象
水内荘	1	利用者、家族	ほっと上伊那	1	利用者
みのちGHC	1	利用者、家族	伊那ゆいま〜る	1	利用者、家族、支援者
歩楽里	1	利用者、家族	ほっとジョイブ	2	利用者、家族、一般
小春日和	0	利用者、家族	辰野町就労・地活	1	利用者、家族
こぶし	1	利用者、家族	西駒郷	1	利用者、家族
長野県信濃学園	1	利用者、家族	サンアップル	12	利用者、家族、一般
松本あさひ	1	児童	サンスポート駒ヶ根	1	利用者、家族
松本ひよこ	1	利用者、家族			

7 「本人部会」充実への協力

○本人部会の活動状況

(単位：回)

<やぐも会(長野)>

項目	回数	内 容
会議	0	新型コロナウイルス感染予防のため活動実績なし
余暇活動	0	

<ともだちの会(ほっと上伊那)>

項目	回数	内 容
会議	0	新型コロナウイルス感染予防のため活動実績なし
旅行	0	"
その他	0	

8 家族との連携

保護者会活動への協力や家族への情報提供及び利用者と家族の交流の機会を確保し、連携強化に努めました。

○事業所と家族の連携・協力状況

(単位：人)

事業所名	保護者会		家族の協力			
	会議等	視察等	環境整備	イベント	個別支援 計画等	その他
水内荘	15	0	0	0	*	0
歩楽里			0	12	32	0
八雲日和			0	0	40	0
小春日和			20	0	65	0
こぶし			0	0	1	1
長野県信濃学園			中止	中止	2	0
松本ひよこ			0	0	42	0
ほっと上伊那			0	0	0	0
伊那ゆいま〜る			0	0	21	0
ほっとジョイブ			0	0	52	0
辰野町就労センター			0	5	7	0
辰野町地活センター			0	0	4	0
西駒郷	*	0	中止	7	69	0

*参加はあるが人数が未確認

9 地域・ボランティアとの連携

○主なイベント

(単位：人)

事業所	イベント名	開催日	参加者数	内 容
水内荘	豊野復興花火大会	8/11	—	特別協賛
	水内荘創立60周年記念事業	9/10	—	・記念花火打ち上げ ・記念品(てぬぐい)を関係者に配布
	さつまいも芋ほり体験	10/15	10	・地元保育園児、小学生参加
みのち GHC	活動無し		0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
歩楽里	ふらりレクリエーション	10/30	12	サンアップルにて参加人数を制限して仮装種目等を取り入れて三年ぶりに開催。
八雲日和	八雲感謝祭	中止	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
小春日和	ジャズガーデン	中止	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
長野県 信濃学園	のびろ祭	10/1	48	新型コロナウイルス感染症対策のため、web等により実施。
松本 あさひ学園	ほほえみ祭	10/8	54	(縮小) 松本あさひ太鼓演奏、自主製作学園映像試写会・ミニ文化祭(歌・絵画等)
松本ひよこ	ひよこイベント	6/17	39	他事業所の移動販売、ゲーム

大北圏域障がい者就労・生活支援センター	実績なし		0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
ほっとジョイブ	ほっとミニマルシェ	9/24	0	パン、喫茶、ゲーム等利用者お楽しみ会に変更
西駒郷	にしこま祭	10/15	6	大道芸 移動販売（ソフト・アイスクリーム） 打ち上げ花火
障がい者福祉センター	納涼DAYS	7/23・24	451	水中エンジョイタイム、館内ウオークラリー、ワークショップ他
	年末イベント	12/17	195	ワークショップ、スポーツレクリエーション
泉平ハイツ	泉水祭	—	—	新型コロナ感染予防のため中止 （泉平地区、水内荘、長野ブロック事業所）
	豊野復興花火大会	8/11	—	協賛

○地域での学習会、教室の開催

（単位：回、人）

事業所名	教室・講演名	回数	参加人数	内容
長野県信濃学園	こまくさ教室	0	0	外部専門家による療育相談（各種療法、言語、生活、運動、歯科、自閉症発達障がい、その他）
	こまくさ教室公開講座	1	45	新型コロナ感染予防のためオンライン開催 演題：「自分らしく”大人になっていこう～好きだって嫌いだって大切なそ“その人らしさ”～」（東條知子氏、塩尻・山形・朝日地域障がい者基幹相談支援センター機能強化コーディネーター）
松本あさひ学園	長野県立大への講義 地域社会福祉協議会への講演	2	80	学園の心理治療について
大北圏域障がい者就労・生活支援センター	実績なし	0	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
西駒郷	アトリエ「風と太陽」	4	30	障がいのある方がアート活動できるスペースの開放とそのサポート、作品展示（ほっと展にて）

○地域住民との主な連携状況

事業所名	依頼事項	協力事項
水内荘	水害時の一時避難所要請 避難者向け備蓄品の保管	豊野区自主防災会と水害時における一時避難に関する協定（体育館等の施設開放）
こぶし	イベント参加（作品展示・パン販売）	新型コロナ感染拡大のため中止
八雲日和	長野市災害ボランティア委員会の活動	長野パルセイロホームゲーム時のおやき販売
小春日和	シンポジウムでの講演	住民自治協議会主催の福祉大会のシンポジウムで講演を実施
長野県信濃学園	裁縫ボラ、樹木剪定、環境整備、夏	新型コロナ感染予防のため中止

	休みの支援ボラ、音楽療法ボラ、餅つき会等	
松本あさひ学園	新型コロナウイルス感染症拡大により中止	同左
松本ひよこ	施設周辺の環境整備、地区イベント・他施設へのパン販売、	施設周辺道路の除草・除草剤散布(年2回)、駐車場の貸出
ほっと上伊那	なし	周辺清掃、 地区防災訓練参加 箕輪町社協中学生職場体験協力
大北センター	施設周辺の環境整備	環境整備(月1回)、除雪 (大田市社協と合同で実施)
伊那ゆいま〜る	広報紙回覧、古紙回収	駐車場の貸出 地区イベント(文化祭他)への参加 地区清掃活動
ほっとジョイブ	なし	周辺環境整備
辰野町就労・地活センター	辰野町イベントノベルティグッズの制作牛乳パック回収、アルミ缶回収、新聞袋作り	辰野町イベントへの出店 辰野町地域ケア推進会議及び部会
西駒郷	西駒郷協会、にしこま祭などの事業所行事、駒ヶ根市下平区・宮田村大久保区との連絡協議会	絶滅危惧種「ミヤマシジミ」保護活動、地域のイベントへの参加・出店、地区清掃活動
障がい者福祉センター	下駒沢地区防災訓練一次避難所	なし
泉平ハイツ	環境整備、秋祭り協力	新型コロナウイルス感染症対策のため中止 (地区農業水路の清掃、祭り等イベント)

○サービス充実の主なボランティア受入状況

(単位:回、人)

事業所	日常支援			内容
	回数	延人数	実人数	
水内荘	2	—	—	季節に合わせた創作品の提供
こぶし	2	10	20	カラオケ教室(新規)
歩楽里	0	0	0	ふらりレクリエーションは感染防止の観点からボランティアは受け入れず。
長野県信濃学園	0	0	0	長期休業の支援、音楽療法等中止
松本あさひ学園	1	2	2	クリスマス会へアセット
松本ひよこ	0	0	0	新型コロナウイルス感染症対策ため中止
ほっと上伊那	0	0	0	新型コロナウイルス感染症対策ため中止
ほっとジョイブ	0	0	0	新型コロナウイルス感染症対策ため中止
伊那ゆいま〜る	0	0	0	新型コロナウイルス感染症対策ため中止
辰野就労C	0	0	0	
辰野町地活C	5	12	5	手話ダンス、お話し会
西駒郷	0	0	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
障がい者福祉センター	19	—	99	広報文書発送、遊戯室清掃等
泉平ハイツ	2	17	17	中学生による環境美化と合唱、敬老会のバンド演奏

清掃、イベント等への受け入れ状況

事業所	清掃等			イベント			内容
	回数	延人数	実人数	回数	延人数	実人数	
水内荘	0	0	0	0	0	0	中止
みのちGHセンター	0	0	0	0	0	0	中止
歩楽里	0	0	0	1	0	0	ふらりレクリエーション
長野県信濃学園	0	0	0	0	0	0	中止
松本あさひ学園	0	0	0	0	0	0	〃
松本ひよこ	0	0	0	0	0	0	〃
ほっと上伊那	0	0	0	0	0	0	〃
ほっとジョイブ	0	0	0	0	0	0	ほっとミニマルシェ
伊那ゆいま〜る	0	0	0	0	0	0	
西駒郷	1	29	29	4	5	4	行事、アトリエ風と太陽
障がい者福祉センター	0	0	0	10	51	—	大会・イベント等

10 入所施設利用者の地域生活移行の推進

○平成14年度以降の地域生活移行者数

(単位：人)

区分	H14 ~15	H16 ~20	H21 ~25	26 ~30	R1	R2	R3	R4	累計
水内荘	0	28	13	2	1	0	0	0	44
信濃学園	0	0	9	16	2	1	5	3	36
西駒郷	46	201	48	17	2	1	1	0	316
合計	46	229	70	35	5	2	6	3	396
西駒郷 再入所	0	10	5	1	0	0	0	0	16

11 地域福祉サービス体制の充実

(1) セーフティネット機能強化

ア 短期入所利用状況

(単位：人)

区分	延入日数	実人数	1日平均	昨年度1日平均
水内荘	23人日	5	0.1	0.45
長野県信濃学園	0人日	0	0	0
ほっとジョイブ	18人日	4	0.22	0.1
西駒郷	626人日	11	1.7	1.4

イ 日中一時支援

(単位：人)

区分	延入時間	実人数	1日平均	昨年度1日平均
長野県信濃学園	0時間	0	0	0

ウ 放課後等デイサービス利用状況

(単位：人)

区分	延人日数	実人数	1日平均	昨年度一日平均
歩楽里	2322人日	32	7.8	7.5

(2) 居宅介護サービスの状況

○居宅等介護事業の実績

(単位：人、時間)

区分	居宅介護			重度訪問介護	行動援護	地域生活支援事業		自立サポート支援事業	合計		
	身体介護	家事援助	通院介助			移動支援等	タイムケア				
歩楽里	登録	4年度	1			0	15	19	37	24	96
		3年度	2			0	13	9	35	25	84
	実績	4年度	0	0	2.5	0	2034.5	199.0	2732.2	326.0	5294.5
		3年度	0	0	29.5	0	2198.0	130.0	2576.5	384.5	5318.5
ほっと上伊那	登録	4年度	69			0	16	100	0	0	185
		3年度	72			0	14	106	0		196
	実績	4年度	0	0	1501		622	3038	0		5161
		3年度	0	0	1593		865.0	3957.5	0		6018.5

(3) 相談支援事業の状況

○相談支援実施状況

(単位：人)

	配置人数		特定相談 (件)		障がい児相談		一般相談	
	専従	兼務	サービス等利用計画	モニタリング	サービス等利用計画	モニタリング	地域移行支援	地域定着支援
水内荘	0	2	0	0			0	0
歩楽里	2	2	185	525	28	36	0	0
松本ひよこ	0	3	18	36	0	0	0	0
ほっと上伊那	0	0	0	0				
伊那ゆいま～る	0	1	22	23				
ほっとジョイブ	0	2	33	2				
辰野就労センター	0	3	*	*				
西駒郷	3	6	182	213			0	6
上伊那圏域障がい者総合支援センター	0	5	173	218	65	74	0	0
松本児家センあいく	3	2						101

(4) 余暇(スポーツ(運動)・文化)活動支援体制の整備

○事業所レクリエーション事業(余暇活動支援)

<所内実施事業>

(単位:回)

事業所		季節行事	誕生会	スポーツ	文化	その他	回数
入所	水内荘	7	0	3	3	1	14
		夏まつり、ハロウィン、クリスマス会、餅つき、節分、芋ほり・やきいも等		サンアップル体操教室、北信レクリエーション大会(Zoom参加)	創作活動の作品を出展(市内3カ所)	水内荘創立60周年花火	
	長野県信濃学園	4	0	1	4	7	16
		夏祭り、クリスマス会等		スポーツ	映画、音楽、書初め、三味線	工作、お絵かき、バス旅、アイス、お菓子がり、カラオケ、卒業生	
松本あさひ学園	7	0	5	5	7	24	
	花火大会、縁日、クリスマス会、豆まき等		野球、サッカー、エアロビ等	ハーバリウム、スクラッチアート、太鼓等	レクリエーション、ミニ4駆大会、デューエマ大会等		
西駒郷	17	30	0	1	8	56	
	お花見、暑気払い、クリスマス会等	誕生日会	誕生会	アート共同作品制作	移動販売(ラーメン、アイス)等		
八雲日和	8	5	0	0	0	13	
	クリスマス等	誕生会					
小春日和	1	0	0	1	0	2	
	仕事納めの会			ジャズコンサート			
こぶし	2	9	6	16	3	36	
	スイカ割り、クリスマス会等	誕生会	レクスポ、ボウリング等	調理、創作、カラオケ大会等	DVD鑑賞等		
松本ひよこ	1	2	0	1	0	4	
	お花見	食事会		書初め	お花見		
辰野就労センター	4	0	0	0	12	16	
	花見、暑気払い忘年会等				合同レク昼食会		
辰野地活センター	5	0	0	0	5	10	
	花見、暑気払い忘年会等				昼食会		
ほっとジョイブ	2	0	3	0	8	13	
	暑気払い忘年会等		サポ-ト教室等		ほっとミニマルシェ・食事会		
伊那	5	0	3	3	3	14	

	ゆいま ～る	花見、ハロウ イン、節分、 クリスマス等		サンスポ ート 教室	音楽、カラ オケ、創作	リフレッシ ュ会、ピン ゴ大会、プ ロジェクタ ー上映会 (邦画)	
G H	みのち GHセ ンター	各ホームで実施		—	—	—	0
	松本ひ よこ	各ホームで実施		—	—	—	—
	ほっと 上伊那	各ホームで実施		—	—	誕生会 食事会	—
相 談 他	歩楽里	(季節行事) ひな祭り、七夕 祭り、夏祭り、ハロウィン、 クリスマス等		—	—		—
	大北圏 域セン ター	なし		0	0	0	0

<所外実施状況>

(単位：回)

	事業所	季節行事	食事会	スポーツ	各種鑑賞	旅行	地域行事他	回数
入 所	水内荘	3	0	0	3	0	0	6
		お花見、パ ラ園外出、 初詣			作品鑑賞			
	長野県信 濃学園	0	0	0	0	0	随時	0
							個別外出	
	松本あさ ひ学園	0	0	0	0	0	0	0
西駒郷	5	0	0	2	0	1	8	
	バスハイク 等			ほっと展 (市内、 巡回展)		食事招待 (ソースか つ丼)		
通 所	八雲日和	0	0	0	0	0	0	0
	小春日和	0	0	0	0	0	0	0
	こぶし	1	1	0	0	5	0	7
		花見	食事会			ドライブ		
	松本ひよ こ	0	0	0	0	0	0	0
	辰野町就 労支援セ ンター	0	0	0	0	0	1	0
							パラリンピック採火式	
	辰野町地 活センタ ー	0	0	2	0	0	14	16
			サンスポ ート教室 等			パラリンピック採火式 ドライブ散 策交流会等		
ほっと	0	0	1	0	1	常時	13	

	ジョイブ			ボウリン グ		日帰り	公園、ドラ イブ	
		2	0	3	3	0	8	
	伊那 ゆいま～ る	花見		公園ウオ ーキン グ・散歩	美術館、 プラネリム 等		中央区文化 祭、なごみ の樹展示、 読売新聞販 売会等	16
G H	みのちG Hセンタ ー	各ホームで実施					感染対策	適宜
	松本ひよ こ	各ホームで実施					—	適宜
	ほっと 上伊那	各ホームで実施				感染対策	地区行事等	適宜
相 談 他	歩楽里	—		2 サンアップル スポーツ教室	—	—	—	—
	大北圏域 センター	在職者交流会 求職者交流活動		4 軽スポーツ				4

<泉平ハイツ利用状況>

1 特別養護老人ホーム利用者の状況

(1) 介護度別利用者数 (定員：74名)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	1	2	5	5	13
女性	1	2	10	36	9	58
合計	1	3	12	41	14	71

(2) 年齢別利用者数

	男性	女性	計	その他		
60歳未満	0	0	0	最高齢	男性	93歳
60歳～69歳	0	0	0		女性	99歳
70歳～79歳	1	6	7		平均連齢	男性
80歳～89歳	7	17	24	女性		90歳
90歳～99歳	5	35	40			
100歳以上	0	0	0			
合計	13	58	71			

(3) 在所期間別利用者数

区分	3月未満	3月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	合計	一人当たりの 平均在所期間
男性	1	5	4	0	3	0	0	13	2年8か月
女性	5	15	22	8	4	2	2	58	3年4か月
合計	6	20	26	8	7	2	2	71	3年2か月

2 ショートステイ利用者の状況

利用者延べ人数 (定員: 16名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	412	425	414	438	413	420	154	370	515	435	470	494	4,960

前年度 5,176人

3 デイサービス

利用者延べ人数 (定員: 25名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	26	26	26	26	27	22	26	20	26	23	24	27	299
利用者数	310	316	353	324	300	275	340	198	265	245	275	335	3,536
1日平均	11.9	12.2	13.6	12.5	11.1	12.5	13.1	9.9	10.2	10.7	11.5	12.4	11.8

前年度 4,462人

4 グループホーム

(1) 介護度別利用者数 (定員: 18人)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	2	1	0	0	0	3
女性	3	5	3	2	1	14
合計	5	6	3	2	1	17

(2) 年齢別利用者数

年齢	70~79	80~84	85~89	90以上	平均年齢
男性	0	1	2	0	87
女性	0	2	5	7	90
合計	0	3	7	7	90

事業報告書附属明細書

補足すべき重要な事項はありません。

